

平成 25 年度 河川レンジャー年間活動計画（案）

平成 25 年 3 月

福島出張所管内河川レンジャー

池宮 實 （4 期生）

西岡 和昭 （6 期生）

村瀬 りい子 （7 期生）

毛馬出張所管内河川レンジャー

三輪 栄子 （3 期生）

崎谷 久義 （4 期生）

石山 郁慧 （5 期生）

新里 嘉孝 （6 期生）

目 次

1.	福島出張所管内河川レンジャー	池宮 實	1
2.	福島出張所管内河川レンジャー	西岡 和昭	22
3.	福島出張所管内河川レンジャー	村瀬 りい子	31
4.	毛馬出張所管内河川レンジャー	三輪 栄子	37
5.	毛馬出張所管内河川レンジャー	崎谷 久義	48
6.	毛馬出張所管内河川レンジャー	石山 郁慧	68
7.	淀川出張所管内河川レンジャー	新里 嘉孝	84

1. 福島出張所管内河川レンジャー 池宮 實

1.1 活動方針

池宮河川レンジャーは、河川レンジャーとしての活動目的を達成するため、平成25年度は、9つの活動を実施致します。

※ 河川レンジャーとしての活動目的

淀川に親しむ地域住民を増やし、淀川の歴史、自然を伝え、淀川が流域に与えてきた恵みと、淀川が抱える課題を共有し、流域にとって安全で安心のできる「いい川・淀川」づくりを目指します。

※ 活動テーマと活動分野

「知ってるようで知らない淀川」の歴史、自然に触れながら、治水、利水、環境、地域防災を学ぶ取り組みを地域住民と協働して進めます。

平成25年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
淀川の歴史・文化を啓発する活動	知ってるようで知らない淀川 「淀川の自然・環境」を学ぶ	淀川の歴史、自然環境と市民生活との係わりを学ぶ
日常的な河川管理についての理解・啓発する活動	知ってるようで知らない淀川 「淀川を生かし・市民生活を守る施設」を学ぶ	身近にある河川管理の施設について住民に理解を深めていただく、住民参加の促進
河川の適正な利用の推進を図る活動「Ⅰ」	「十三干潟での生物多様性と自然環境」の学習 小学校自然観察授業	安全で楽しい河川利用を実践、干潟の持つ生物多様性と干潟の育成を学ぶ
淀川の歴史と防災の推進を図る活動	淀川の歴史を学び災害に強い街づくりを学ぶ	洪水・集中豪雨等の水害被害を少なくし、安心して暮らせる防災・減災方法を学ぶ
防災の推進を図る活動「Ⅰ」	河川レンジャー活動と 「みんなで考えよう防災」 展示	淀川の河川整備の意義と防災・減災意識を啓発
河川の適正な利用の推進を図る活動「Ⅱ」	淀川の生物多様性と水辺の生きもの」 水槽展示・説明	淀川の淡水魚を通して淀川の存在と生物多様性の大切さを啓発
河川の適正な利用の推進を図る活動「Ⅲ」	淀川の生物多様性と水辺の生きもの」の学習 学校出前授業	淀川の淡水魚を通して淀川の存在と生物多様性の大切さを啓発
淀川と市民生活との係わりを理解、啓発する活動	知ってるようで知らない淀川 「淀川と生活用水施設」を学ぶ	淀川の利水による浄水と下水の在り方と、節水の大切さを学ぶ
防災の推進を図る活動「Ⅱ」	河川レンジャー活動と 「淀川の歴史を学び災害に強い街づくり」 の展示・講習	淀川の河川整備の意義と防災・減災意識を啓発

1.2 河川の持つ市民生活への恵みを啓発する活動

「淀川の自然・環境」を学ぶ

淀川右岸～左岸～毛馬～大川～造幣局（淀川探訪ウォーク「I」）

(1) 活動目的

干潟、野鳥など淀川が持つ自然環境が流域に与える恵みの大きさを伝えるため、地域の人たちを川へ誘導し川に関わる機会の増加と水辺環境維持を通して、「いい川づくり」へつなげます。

平成25年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	2月		実施計画の立案 関係団体との折衝開始 資料作成準備 広報活動開始 協力者選抜
	3月		コース下見（距離・時間計測） 参加者数確認 協力スタッフ・団体との最終調整
平成 25 年	4月	実施（上旬）	
	5月		総括
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：地域住民

参加定員：40人程度～

(3) 実施内容

・淀川右岸・左岸・大川の自然観察ウォーキング（干潟、河川改修・保全等の解説）

(4) 実施日

4月初旬の平日 午前9時～12時

(5) 実施場所

淀川区役所～淀川右岸～左岸～大川左岸（桜ノ宮）



(6) 広報・募集方法

- 淀川区広報への掲載依頼
- 地域ミニコミ誌への掲載依頼
- 地域の団体への参加依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- 協力スタッフ：福寿会
- 記録：淀川水遊館

(8) 事前に必要な手配及び支援依頼内容

- 河川レンジャーのぼり
- 配布資料作成後の参加者部数印刷
- アンケート用紙の作成後の参加者部数印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案（コース確認）
- 関係団体との折衝
- 協力スタッフの手配・打ち合わせ
- 広報活動
- 事業運営
- アンケートのまとめ

1.3 日常的な河川管理についての理解・啓発

「淀川を生かし・生かされる施設」見学（淀川探訪ウォーク「Ⅱ」）

(1) 活動目的

近畿地方は古代より琵琶湖および母なる大河・淀川の水の恵みを受けて生活を営んできました。その淀川も数々の大きな氾濫により流域に生活する人々に大きな災害を与えてきました。淀川の維持管理と水利用の在り方を考え環境に優しい、「いい川」淀川を流域住民が安らぎの場として利用できる活動につなげます。

平成25年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	3月		実施計画の立案 関係団体との折衝開始 資料作成準備 広報活動開始 協力者選抜
	4月		コース下見（距離・時間計測） 参加者数確認 協力スタッフ・団体との最終調整
平成 25 年	5月	実施	
	6月		総括
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：一般の方

参加定員：50人程度

(3) 実施内容

淀川右岸・左岸の自然観察ウォーキング、毛馬管理棟（毛馬排水機場）見学
淀川区役所・南方河川公園・淀川大堰（長柄橋）・毛馬管理棟（毛馬排水機場）

(4) 実施日

5月中旬～下旬 平日（火曜日又は金曜日）実施予定

(5) 実施場所

淀川右岸～淀川大堰（長柄橋）～毛馬管理棟（毛馬排水機場）



(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページへの掲載
淀川区広報への掲載依頼・地域ミニコミ誌への掲載依頼
地域の団体への参加依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ : 淀川区役所・健康福祉課 : 夢ちゃんサポートメンバー
: 淀川水遊館

(8) 事前に必要な手配及び支援依頼内容

河川レンジャーのぼり
配布資料作成後の参加者部数印刷
アンケート用紙の作成後の参加者部数印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案（コース確認）
協力スタッフの手配・打ち合わせ・広報活動
事業運営
アンケートのまとめ

1.4 河川の適正な利用の推進を図る活動

「十三干潟での生物多様性と自然環境」の学習

(1) 活動目的

安全で楽しい河川利用啓発の目的で、小学生の子供たちと地域の人達を対象に十三干潟での自然観察と遊びを行います。

学習・遊びを通して淀川環境維持、干潟の持つ生物多様性と誰もが近付ける干潟の育成を学び、安全で楽しく遊べる「いい川」淀川を体験します。

平成25年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		実施計画の立案 河川管理者への協力依頼 広報準備 団体・小学校との折衝開始 協力スタッフ選抜
	5月		資料作成 広報活動 実施場所下見 観察生物の採取 協力スタッフ・団体との調整 参加者数確認
	6月	実施	(当日雨天の場合9月実施)
	7月		総括
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：大阪市立十三小学校生徒（3～4年生）

：地域の方、PTA

参加定員：50人～60人程度

(3) 実施内容

- ・川遊びの安全指導
- ・十三干潟の全体像を観察
- ・干潟での遊びを通して生物の観察・採集

(4) 実施日

6月中旬の平日（潮汐による）午前中 10時～12時

(5) 実施場所

淀川右岸十三干潟・ヨシ原水路付近



(6) 広報・募集方法

学校訪問・協力依頼

地域の団体への参加依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：小学校PTA・十三福寿会

記録：淀川水遊館

(8) 事前に必要な手配及び支援依頼内容

河川レンジャー・センター事務局

(投網・ウェーダー・たも網・バケツ・観察槽等の水辺観察機材)

ライフジャケット (大人用、小人用) ・ハンドマイク

救急箱

河川レンジャーのぼり

その他水辺観察に必要な小物機材

福島出張所

配布資料作成後の参加者部数印刷

アンケート用紙の作成後の参加者部数印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

関係団体との折衝

協力スタッフの手配・打ち合わせ

干潟への通路の確保 (事前確認)

広報活動

事業運営

アンケートのまとめ

1.5 防災の推進を図る活動 I

「淀川の歴史を学び水害に強い街づくりを学ぶ」

(1) 活動目的

地震、津波、高潮などの水害被害のみならず雷雨や集中豪雨などによる内水氾濫被害を少なくし、安心して暮らせる備えを学ぶ

平成25年度 年間スケジュール

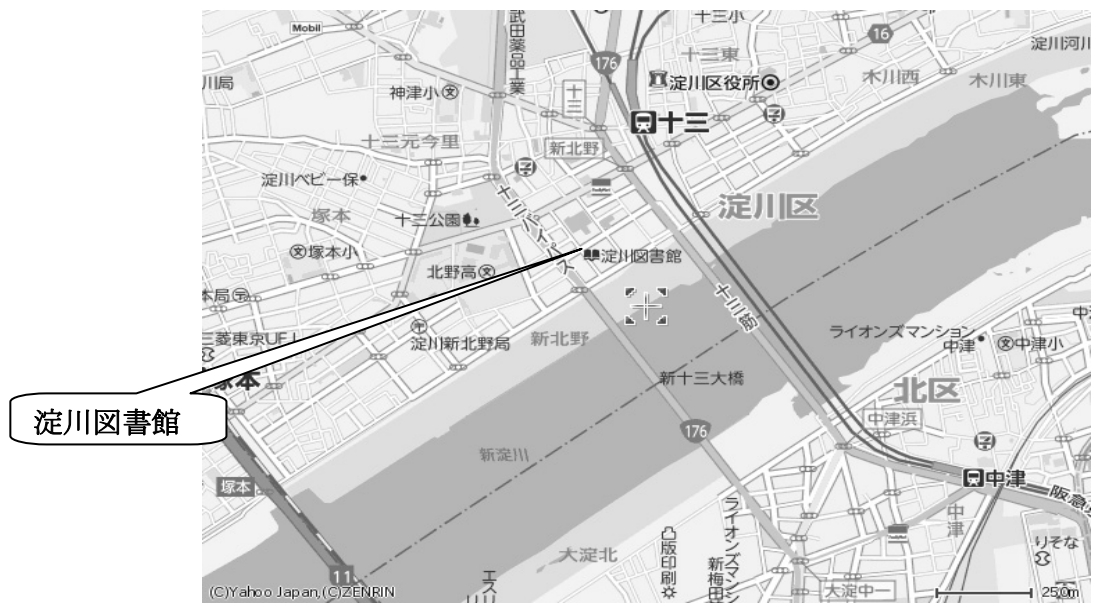
		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		実施計画の立案 淀川図書館との折衝開始 広報準備
	7月		資料作成 広報活動 実施場所打合せ 協力スタッフ・団体との調整 参加者数確認
	8月	実施	
	9月		総括
	10月		
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：地域住民（淀川図書館来館者）

参加定員：20人～30人程度

- (3) 実施内容
 - ・ P. Pスライドによる水害、地震、津波被害の解説
 - ・ 水害、集中豪雨のパネル写真展示
- (4) 実施日
 - 4月中旬
- (5) 実施場所
 - 淀川図書館



- (6) 広報・募集方法
 - 図書館広報への協力依頼
 - 地域ミニコミ誌への掲載依頼
 - 地域の団体への参加依頼
- (7) 協力スタッフ等の人数とその役割
 - 協力スタッフ：淀川水遊館
- (8) 必要支援内容
 - 事務所及び事務局
 - 説明配布資料作成後の印刷
 - アンケート用紙作成後の印刷
 - 河川レンジャーのぼり
- (9) 活動における河川レンジャーの活動内容
 - 実施計画の立案
 - 協力スタッフの手配・打ち合わせ
 - 広報活動
 - 事業運営
 - アンケートのまとめ

1.6 防災の推進を図る活動 I
「みんなで考えよう防災」 パネル展示

(1) 活動目的

地震、津波、高潮などの水害被害のみならず雷雨や集中豪雨などによる内水氾濫被害を少なくし、安心して暮らせる備えを学ぶ

平成25年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		実施計画の立案 河川管理者への協力依頼 広報準備 区民センターとの折衝開始
	8月		資料作成 広報活動 実施場所打合せ 協力スタッフ・団体との調整
	9月	実施	
	10月		総括
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：地域住民

参加定員：無し

(3) 実施内容

- ・淀川の歴史、洪水、水害、集中豪雨のパネル写真展示・解説

(4) 実施日

9月

(5) 実施場所

淀川区民センター



(6) 広報・募集方法

淀川区広報

地域ミニコミ誌

地域の団体への参加依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：淀川区・ハウリーダー

(8) 必要支援内容

事務所及び事務局

淀川今昔写真パネル・洪水、水害パネル

説明配布資料作成後の印刷

アンケート用紙作成後の印刷

河川レンジャーのぼり

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

協力スタッフの手配・打ち合わせ

広報活動

事業運営

アンケートのまとめ

1.7 河川の適正な利用の推進を図る活動

「淀川の生物多様性と水辺の生き物」の学習

淀川の淡水魚を通して淀川が存在と環境保全の大切さを学ぶ

(1) 活動目的

淀川は流域に住む住民の生活用水を供給しているだけでなく、たくさんの生き物たちが生息しています。淡水魚の種類の数では全国河川のベスト5に入ります。

たくさんの生き物たちが棲む淀川環境と自然を守ることの大切さを伝える。

平成25年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		実施計画の立案 関係者への協力依頼 広報準備
	9月		関係者との折衝開始 資料作成 広報活動 実施場所打合せ 協力スタッフ・団体との調整 参加者数確認
	10月	活動実施	淀川河川敷フェスティバル
	11月		総括
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：地域住民

参加定員：なし

(3) 実施内容

- ・淡水魚の水槽展示・写真展示

(4) 実施日

10月(日)

(5) 実施場所

淀川右岸河川敷 南方河川公園



(6) 広報・募集方法

- 淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載
- 淀川区広報への掲載・地域ミニコミ誌への掲載
- 地域の団体への参加依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

会場設営・展示説明：淀川水遊館スタッフ

(8) 事前に必要な手配及び支援依頼内容

- 事務所及び事務局
- 説明配布資料作成後の印刷・アンケート用紙作成後の印刷
- 河川レンジャーのぼり

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案、
- 関係団体との折衝
- 協力スタッフの手配・打ち合わせ
- 大型水槽、展示用淡水魚 其他機材準備
- 事業運営「淀川に生息する淡水魚」を解説
- アンケートのまとめ

1.8 河川の適正な利用の推進を図る活動

「淀川の生物多様性と水辺の生き物」の学習

淀川の淡水魚を通して淀川が存在と環境保全の大切さを学ぶ

(2) 活動目的

淀川にはたくさんの生き物たちが生息しています。淡水魚の種類の高さでは全国河川のベスト5に入ります。

たくさんの生き物たちが棲む淀川の環境と自然を守ることの大切さを伝える。

平成25年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		実施計画の立案 関係者への協力依頼 広報準備
	10月		関係者との折衝開始 資料作成 広報活動 実施場所打合せ 協力スタッフ・団体との調整 参加者数確認
	11月	活動実施	市内の学校出前授業
	12月		総括
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：学校生徒

参加定員：一般募集なし

(3) 実施内容

- ・淡水魚の水槽展示・P. Pスライドによる学習

(4) 実施日

11月

(5) 実施場所

大阪市内小学校（詳細は未定）

(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページへの掲載
淀川区広報への掲載・地域ミニコミ誌への掲載
協力団体への依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

会場設営・展示説明：淀川水遊館スタッフ

(8) 事前に必要な手配及び支援依頼内容

事務所及び事務局
説明配布資料作成後の印刷・アンケート用紙作成後の印刷
河川レンジャーのぼり

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案、
関係団体との折衝
協力スタッフの手配・打ち合わせ
大型水槽、展示用淡水魚 その他機材準備
事業運営「淀川に生息する淡水魚」を解説
アンケートのまとめ

1.9 日常的な河川管理についての理解・啓発

「淀川と生活用水施設」を学ぶ（淀川探訪ウォーク） III

（1）活動目的

淀川の維持管理と多くの生き物たちが生息する淀川の自然環境を観察しながら、淀川の利水による浄水と下水の在り方と節水の大切さを勉強し環境に優しい河川の利用法を啓発し、「いい川」淀川を流域住民が安らぎの場として利用できる活動につなげます。

平成25年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		実施計画の立案
	12月		資料作成準備 広報活動開始 協力者選抜 コース下見（距離・時間計測）
平成 26 年	1月		参加者数確認 協力スタッフとの最終調整
	2月	実施	探鳥しながら下水道科学館まで
	3月		総括

（2）参加対象者・定員

参加対象者：一般の方

参加定員：40人程度

(3) 実施内容

- ・淀川区役所前集合

区役所・淀川右岸～十三大橋～淀川左岸～淀川陸閘～下水道科学館

(4) 実施日

1 1 月初旬 平日実施予定

(5) 実施場所

淀川右岸および左岸



(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページへの掲載

淀川区広報への掲載依頼

地域ミニコミ誌への掲載依頼

地域の団体への参加依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ : 淀川区役所・健康福祉課・夢ちゃんサポートメンバー

(8) 必要支援内容

事務所・事務局

説明配布資料作成後の印刷

アンケート用紙作成後の印刷

河川レンジャーのぼり

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

協力スタッフの手配・打ち合わせ

広報活動

事業運営 アンケートのまとめ

1.10 川の歴史・文化を通して地域防災の推進を図る活動

「淀川の歴史を学び災害に強い街づくり」を学ぶ展示・講習 「Ⅱ」

(1) 活動目的 淀川区ふれあい文化のつどいに出展

大阪平野は淀川や大和川などから流れ込んだ土砂の堆積などで出来ており、多くの川に囲まれ、歴史的に見ても災害に対して非常に弱いまちであり、過去、多くの河川氾濫による災害を受けてきました。

地域の人々に古代以降の大阪平野の成り立ち、近代以降の新淀川の開削、その後も続く水害と河川改修の歴史を解説し、淀川が「水の都・大阪」にどれほど大切な存在であり、特に河川の良い環境と安全の維持には流域に暮らす住民と河川管理者が協働で取り組むことが大切であると伝えたい。

平成25年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		実施計画の立案 広報準備・広報活動開始 関係機関との折衝開始
	2月		協力者との調整 防災に関する資料作成
	3月	実施	総括

(2) 参加対象者・定員

参加対象者 : 一般の方

定員 : なし

(3) 実施内容

「淀川の歴史を学び災害に強い街づくり」パネル展示

(4) 実施日

3月

(5) 実施場所

淀川区民センター



(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページへの掲載

淀川区広報への掲載・地域ミニコミ誌への掲載

地域の団体への参加依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役

会場設営

記録

(8) 事前に必要な手配及び支援依頼内容

河川レンジャー及びセンター事務局

淀川今昔写真パネル・洪水、水害パネル

説明配布資料の作成後の印刷

アンケート用紙の作成後の印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

「淀川の歴史を学び災害に強い街づくり」を解説

実施計画の立案

関係団体との折衝・協力スタッフの手配・打ち合わせ

広報活動

事業運営 アンケートのまとめ

2. 福島出張所管内河川レンジャー 西岡 和昭

2.1 活動テーマと活動分野

西岡レンジャーは、以下の河川レンジャーとしての活動目的を達成するため、平成25年度は、以下の活動テーマのもと、4つの活動を実施します。

河川レンジャーとしての活動目的

- 1、災害に強い安全な町づくりと、地域の水に関わる歴史・文化を伝える。
- 2、河川環境の状況確認及び環境と水質調査を継続的に行い、良い川づくりの指標を作成し、地域住民とともに河川環境の情報を共有し、水環境の理解を求める。

平成25年度活動テーマ

河川の魅力と水の危険

平成25年度の活動一覧

活動分野	活動名	活動目的
防災と淀川の歴史	淀川区内コンビニエンスストア防災訓練	自然災害時への対処
防災と淀川の歴史	中島大水道さいの木神社物語とコント淀川さん	治水の歴史を人形劇で伝え、コント淀川さんでは現状の淀川を知らせる。
自然環境	水質調査と河川敷の把握	水環境を知るとともに、よい川づくりを目指す。
自然環境	切り絵	河川敷に生息する昆虫などを切り絵で伝える

2.2 活動名 淀川区内コンビニエンスストア防災訓練

(1) 活動目的

淀川区内に点在する110店舗のコンビニエンスストア経営者の皆さんに防災について学んでいただき、今後予想される大規模自然災害時における自助、共助のあり方を学んでもらうようにする。

東日本大震災のおり、災害直後からコンビニエンスストアのセーフティステーションが役割を果たしており、もし、関西で大規模災害が発生した場合でも同様の事が考えられます。この教訓を受け、今から淀川区内のコンビニエンスストア全店がその備えを持てるように今年から取り組んでいきたいと思ひます。

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		計画案作成
	5月		淀川区CVS協議会及び区、警察との連携打合せ。
	6月		災害に関する資料作り。
	7月		災害に関する資料作り。
	8月		災害に関する資料作り。
	9月		配布資料作成、CVS配布
	10月	淀川区CVS協議会、防災訓練	意見収集
	11月		まとめ、記録作成、関係機関及び支援者への報告。
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

淀川区内のコンビニエンスストア（オーナー及び店長クラス）約110名

(3) 実施内容

河川敷公園にて土嚢づくりと救急救命講習、及び消火訓練など。

(4) 実施日

平成25年10月を予定

(5) 実施場所



(6) 広報・募集方法

淀川区コンビニエンス防犯連絡協議会を通じ、総会や定例会の場で説明をおこない、また淀川警察署と淀川区役所の協力を得て淀川区全域のコンビニに通知、開催参加を呼び掛ける。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

十三中学校の防災スクールの時に協力していただけるような体制を考えています。地域の水防団、淀川消防署、淀川区役所の協力を求めます。

水防団の皆様には土嚢づくりをお願いし8名程度参加要請を検討。救急救命講習と消火訓練には淀川消防署にお願いをし10名程度参加要請、淀川区役所の方々には後方支援として4名程度の協力を得たいと考えます。

(8) 必要支援内容

土嚢づくりに必要な土、土のう袋、スコップ、タコつちなど。救急救命講習では消防車、消火用ポンプ、AED装置など河川レンジャーのぼり旗

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

全体の流れを円滑に行うため後方支援の方と十分な打合せをし、講習の意義を開始の前後に入れ、職場に帰ってから働いているスタッフの方々に伝えてもらえるようにする。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

この活動は初めてですので、辻川河川レンジャーに相談しながら行いたいと思います。

(11) 活動を行ううえでの課題等

本当の災害時を見据えて真剣に取り組んでいただけるよう災害の様子などを資料作りしていきたいと思います。

(12) その他

2.3 活動名 中島大水道さいの木神社物語とコント淀川さん

(1) 活動目的

防災意識高揚には、治水の歴史を伝える事が一番ですが、近年におきている集中豪雨やゲリラ豪雨といわれる異常気象で現在もなお治水対策がなされていることを地域住民に伝えていきたい。又、コント淀川さんでは、現在の淀川が抱える問題をコント風にして、小さな子どもさんでも解ってもらえるように淀川を考える場にしていきたいと思ひます。

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	淀川河川敷フェスティバル (予定)	舞台、人形、スタッフ、音響
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月	淀川区 物語のチカラ (予定)	舞台、人形、スタッフ、音響
	3月		

生涯学習を通じ、中島大水道に関係する4つの区（東淀川区、淀川区、西淀川区、此花区）に人形劇開催以来をお願いしています。人形劇をしてみたい区がありましたら舞台や人形の貸し出しも検討し、広く治水の話を広めていきたいと思ひます。同時にコント淀川さんも開催したいと思ひますが、演じたい方など現れましたら台本を渡して新たなコンビで取り組んでいただければと考えます。

(2) 参加対象者・定員

各区のイベント状況によります。

(3) 実施内容

講演が決まりましたらそのイベント内で中島大水道の人形劇を講演します。

(4) 実施日

各区のイベント状況によりますが、淀川区では、例年10月の河川敷フェスティバル（予定）と2月の物語のチカラ（予定）に出演させていただけるように努めます。

(5) 実施場所



(6) 広報・募集方法

淀川区ではフォーラム実行委員会河川レンジャー共催で広告を作ってくれますが、他の区で行われる場合は、河川レンジャーの名前を入れていただくことが前提となります。

(7) 協ラストッフ等の人数とその役割

人形劇は主にチーム制で活動しますが、舞台などの運搬については西岡河川レンジャー協力員にお願いしています（西岡河川レンジャー協力員現在5名）

(8) 必要支援内容

河川レンジャーのぼり旗

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

舞台の進行と、治水の歴史や淀川の現状を知らせる河川の啓発活動。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

河川敷フェスティバルや物語のチカラといった大きなイベントの中で行っていますので、人形劇やコント淀川さんについてのアンケートが取れていませんので、25年度はその辺りの改善に努めたいと思います。

(11) 活動を行ううえでの課題等

人形劇の演じては小学生に多く関わって頂いており、一人でも欠けると舞台に支障が出ます。開催直前は関係者の健康に注意していきます。

(12) その他

2.4 活動名 水質調査と河川敷把握

(1) 活動目的

河川の変化と水質保全のための調査を毎月一回続けていき、河川環境の状況確認及び水質調査を継続的に調査を行いながら、良い川づくりの指標を作成し、地域住民とともに河川環境の情報を共有し、地域住民へ水環境の理解を求める。

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	8日	水質調査器具一式
	5月	13日	水質調査器具一式
	6月	10日	水質調査器具一式
	7月	8日	水質調査器具一式
	8月	12日	水質調査器具一式
	9月	9日	水質調査器具一式
	10月	14日	水質調査器具一式
	11月	11日	水質調査器具一式
	12月	9日	水質調査器具一式
平成 26 年	1月	13日	水質調査器具一式
	2月	10日	水質調査器具一式
	3月	10日	水質調査器具一式

(2) 参加対象者・定員

西岡河川レンジャー

(3) 実施内容

淀川十三と西中島の川見と水質調査

(4) 実施日

毎月第2月曜日

(5) 実施場所



(6) 広報・募集方法

特にありません

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

特にありません

(8) 必要支援内容

水質調査器具一式

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

川見、水質調査した結果を管轄する出張所へ報告する。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

今年初めてなので、辻川河川レンジャーと相談しながら進めてまいります。

(11) 活動を行ううえでの課題等

毎月決まった日時に調査するのが課題だと思います。

(12) その他

2.5 活動名 切り絵

(1) 活動目的

河川に住む生き物など（主に昆虫）を切り絵で作り、広く交流できることで淀川河川に生息する生き物に興味を持ってもらいたい。

結果、河川に出向く機会や河川をきれいに保つ意識を養いたいと思います。

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		活動内容調査、計画づくり等
	9月		区、フォーラム実行委員会協議
	10月	淀川河川敷フェスティバル（予定）	紙とハサミ
	11月	大阪市生涯学習発表会（予定）	紙とハサミ
	12月	淀川区生涯学習ルーム発表会（予定）	紙とハサミ
平成 26 年	1月		意見集約、まとめ・記録作成、 関係機関及び支援者への報告
	2月		
	3月		

切り絵講座は23年度、24年度と年間を通し16回～18回行っています。

25年度も14～5件の申し込みが期待できます。一会場に準備する切り絵作品の用意の期間は2週間ほどかかります。予定に入っていない月日に切り絵開催が入りましたら随時報告いたします。

(2) 参加対象者・定員

大人から子ども、おじいちゃん おばあちゃんまで、何人でも。

(3) 実施内容

完成された切り絵作品を展示する。上手く切れることよりもその特徴をとらえていることを褒めてあげ、生き物を観察する習慣を教えたい。

(4) 実施日

各フェスティバルによって異なります。

(5) 実施場所

淀川河川敷フェスティバル開催場所

大阪市生涯学習発表会開催場所

淀川区生涯学習ルーム発表会開催場所

(6) 広報・募集方法

今までの活動実績から年間16件近く依頼がありますが、区や市の生涯学習の協力を得て、今まで以上の活動ができればと、思います。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

小さな会場では私一人でも対応できますが、大きなイベント会場となりますと参加される方が多く、あと2～3人は必要です。切り絵体験でこられる方に應對していただければと思います。

(8) 必要支援内容

ハサミと紙、河川レンジャーのぼり旗

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

切り絵の指導

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

参加者が多い場合があり、事前準備が必要。

(11) 活動を行ううえでの課題等

生きものを大事にする事を教える。

(12) その他

3. 福島出張所管内河川レンジャー 村瀬 りい子

3.1 活動テーマと活動分野

村瀬レンジャーは、以下の河川レンジャーとしての活動目的を達成するため、平成25年度は、以下の活動テーマのもと、5つの活動を実施します。

河川レンジャーとしての活動目的

過去：新淀川の付け替え工事が行われ100年余。かつての西淀川区は一帯が水辺に取り囲まれた水郷地帯。いつも水との戦いで住民は苦勞。水に関する数々の歴史・文化遺産が、現在も残されていたり使用され引き継がれている。

現在：震災後は水辺環境も大きく変化し、汽水域の自然が再生。
一方、課題（漂着ゴミ・特定外来生物・工場跡地の宅地化・水辺への無関心等）も発生。

今後の活動：河川レンジャーとして水辺の保全活動を行うための「西淀川水辺の楽校」を開催。
水辺の生きもの調査&自然体験活動を地域の人たちと取り組む。

目標：水辺の保全活動が、水辺・地域資源などを活用し、地域の活性化や水辺環境の整備、ボランティアの育成、仕組みづくりなどに繋がるような河川レンジャー活動を目指す。

平成25年度活動テーマ

西淀川水辺の楽校 ～西淀川水辺の宝物を見つけ・活かし・つなげよう！～

- ・水辺の保全活動「西淀川水辺の学校」を、地域の活性化や水辺環境の整備、仕組みづくりに繋げるにあたり、
初年度は西淀川の水辺環境の＜過去＞＜現在＞を自然体験をとおして学び、次への活動に活かし、繋げる。

平成25年度の活動一覧

活動分野	活動名	活動目的
<水辺の保全活動>	西淀川水辺の楽校① -西淀川昔のくらしを訪ねてみよう！-	①旧野里村資料館見学 ②江戸時代の水辺の暮しや関りを学ぶ ③野里住吉神社見学及び歴史を学ぼう ④世界で一つのお土産づくり
<水辺の保全活動>	西淀川水辺の楽校② -春の花川水辺の宝物を見つけよう！-	①自然体験 ②水辺の清掃活動（特定外来種駆除） 他 ③世界で一つのお土産づくり

<p><水辺の保全活動></p>	<p>西淀川水辺の楽校③ -夏の花川水辺の宝物を見つけよう！-</p>	<p>①自然体験 ②水辺の清掃活動（特定外来種駆除） 他 ③世界で一つのお土産づくり</p>
<p><水辺の保全活動></p>	<p>西淀川水辺の楽校④ -秋の花川水辺の宝物を見つけよう！-</p>	<p>①自然体験 ②水辺の清掃活動（特定外来種駆除） 他 ③世界で一つのお土産づくり</p>
<p><水辺の保全活動></p>	<p>西淀川水辺の楽校⑤ -冬の花川水辺の宝物を見つけよう！-</p>	<p>①自然体験 ②水辺の清掃活動（特定外来種駆除） 他 ③世界で一つのお土産づくり</p>

3.2 活動名：西淀川水辺の楽校 ①～⑤

(1) 活動目的：干潟保全活動「西淀川水辺の楽校」

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4 月	<p>西淀川水辺の楽校①</p> <p>-西淀川昔の暮らしをしらべてみよう！-</p> <p>1) 歴史探険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧野里村資料館の見学および池永邸他見学 ・江戸時代の水辺の状況や暮らしぶりを学ぶ <p>2) 野里住吉神社見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100 年前の旧中津川堤防見学 ・一夜官女祭について、宮司様のお話を伺う <p>3) 世界で一つのお土産づくり</p>	<p>自然観察道具一式</p> <p>ハット・マイク</p> <p>救急箱</p> <p>ブルーシート</p>
	5 月	<p>西淀川水辺の楽校②</p> <p>-春の花川水辺の宝物を見つけよう！-</p> <p>1) 自然体験</p> <p>2) 清掃活動（特定外来種駆除）他</p> <p>3) 世界で一つのお土産づくり</p>	<p>自然観察道具一式</p> <p>（フィールド・スコープ・双眼鏡等）</p> <p>ハット・マイク・救急箱</p> <p>ブルーシート</p> <p>清掃道具一式</p>
	8 月	<p>西淀川水辺の楽校③</p> <p>-夏の花川水辺の宝物を見つけよう！-</p> <p>1) 自然体験（ジミコトラーゴ調査他）</p> <p>2) 清掃活動（特定外来種駆除）他</p> <p>3) 世界で一つのお土産づくり</p>	<p>自然観察道具一式</p> <p>（フィールド・スコープ・双眼鏡等）</p> <p>ハット・マイク・救急箱</p> <p>ブルーシート</p> <p>清掃道具一式</p>
	8 月		
	9 月		
	10 月	<p>西淀川水辺の楽校④</p> <p>-秋の花川水辺の宝物を見つけよう！-</p> <p>1) 自然体験（昆虫しらべ他）</p> <p>2) 清掃活動（特定外来種駆除）他</p> <p>3) 世界で一つのお土産づくり</p>	<p>自然観察道具一式</p> <p>（フィールド・スコープ・双眼鏡等）</p> <p>ハット・マイク・救急箱</p> <p>ブルーシート</p> <p>清掃道具一式</p>
	11 月	<p>西淀川水辺の楽校⑤</p> <p>-冬の花川水辺の宝物を見つけよう！-</p> <p>1) 自然体験（野鳥観察他）</p> <p>2) 清掃活動（特定外来種駆除）他</p> <p>3) 世界で一つのお土産づくり</p>	<p>自然観察道具一式</p> <p>（フィールド・スコープ・双眼鏡等）</p> <p>ハット・マイク・救急箱</p> <p>ブルーシート</p> <p>清掃道具一式</p>
12 月			

平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ①対象者：地域住民および小学生
- ②定員：各 30～40 人

(3) 実施内容：

- ①テーマに沿った話 ②自然観察 ③清掃活動 ④世界で一つのお土産づくり（クラフト作り）

〔例〕①回目：集合場所／西淀川区役所入り口

目 的／見学をとおして水辺の歴史遺産や文化遺産を学び関心を高める

9：30～ 受付開始（名札配布・班分け・班単位にて移動）

9：45～ 移動（大野川緑陰道路経由）…随所にスタッフ配置

10：00 池永邸（到着予定）（国の重要文化財…大阪府で一番古い近世の農家）

開会の辞・挨拶・概略説明・諸注意事項等

①資料館見学：

- ・旧野里村（西淀川区一部分）や、新淀川付け替え工事前の西淀川区の様子を
模型や地図・写真などで学ぶ

（模型で目印となる「大野川緑道」「新淀川」の現在の位置を確認）

- ・「野里の島村がニ」伝説とは？
- ・「大野川の鯉つかみ」とは？

②池永邸見学&観察：

- ・昔の農家の生活や工夫、水に備えた知恵の数々を学ぶ
- ・田舟（櫓や櫂）は、何のために？…水郷地帯だよ。
- ・シュロの木は、何のために？…水に強いシュロ縄利用のためなど。

11：00 移動

11：15 野里住吉神社到着

「歴史について」

- ①柏の渡し跡…資料館で見た地図とあわせて考えよう
- ②旧中津川堤防見学
- ③一夜官女祭について：何故おこなわれたか？
- ④乙女塚について など

12：00 ①世界で一つのお土産づくり

- ②わかちあい
- ③まとめ

12：30 閉会の辞・解散

(4) 実施日

- ①回目：4月上旬 時間：10時～12時半（予定）
- ②回目：5月上旬 時間：10時～12時半（予定）
- ③回目：7月上旬 時間：10時～12時半（予定）
- ④回目：10月上旬 時間：10時～12時半（予定）
- ⑤回目：11月下旬 時間：10時～12時半（予定）

(5) 実施場所

- ①野里池永邸・野里住吉神社（予定）
- ②花川干潟および周辺
- ③花川干潟および周辺
- ④花川干潟および周辺
- ⑤花川干潟および周辺



(6) 広報・募集方法

- ・チラシ(A4)：白黒100枚・・・小学校&PTA・図書館・地域および関係団体等に配布（*第一回目は、周辺への告知を兼ねる。第二回目以降は、チラシも削減予定）
- ・ポスター(A3)：30枚／大野川緑陰道路他関係先

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

- ・スタッフ：5～6名
- ・統括リーダー1・安全確認1・受付&救護1・班編成担当スタッフ／各1名他・

(8) 必要支援内容

- ・印刷代：チラシおよび教材等・・・福島淀川出張所利用
 - ・**会場使用料**：本番／境内および社務所使用料（野里住吉神社様）（今後調整） *
- 野里住吉神社には、
- 1) 新淀川付け替え工事前の旧中津川堤防の一部が残存。（社務所内より見学可能）
 - 2) 柏の渡しの碑がある
 - 3) 一夜官女祭にまつわる乙女塚がある
 - 4) 暴れ川にまつわる「一夜官女祭」（大阪府無形文化財）が毎年 2/20 に今も行われている。
- 5) 神崎川の旧名盤等が残存。他諸写真の陳列など、お話やクラフトづくりなど、野里住吉神社ならではの特性を活かす事ができる。（他では不可能。）
- ・借損料：打合せおよび準備等会場使用料 全 4 回×各 2（打合せ）・・・検討
 - ・消耗品：クラフト用コード紐 各回に使用（今後調整）
 - マジック5セット（河川レンジャー事務局）
 - クラフト用温度計（今後調整）
 - クラフト用ヒートン（今後調整）
 - ・交通費：講師および関係者等、下見他打合せ 各 5 回（今後調整）

(9) **活動における河川レンジャーの活動内容**

- ・企画および立案
- ・全体統括および安全確認
- ・「開始」と「終了宣言」と、暑い時期は途中にて「熱中症」等について健康確認。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・小学生および保護者を対象とし、参加者を絞る。

(11) 活動を行う上での課題等

- ・安全確認・健康管理（特に熱中症対策など）
- ・大雨・台風等の天候（小雨決行・・・プログラムの一部変更あり）
- ・必ず下見を実施（決して無理な計画を立てない）

(12) その他：＜緊急時連絡先他＞

- ・緊急時の対応：花川干潟での実施の際にはフィットネスクラブに協力要請予定
- ・**コスパ**：〒532-0026 大阪市淀川区塚本1-19-12
電話 06-6101-2071
- ・緊急時病院：**西大阪病院**：〒555-0022 大阪市西淀川区柏里1-14-13
電話 06-6475-0001 FAX 06-6475-1888
- ・西淀川警察：06-6474-1234（事前告知）
- ・西淀川消防署：06-6472-0119（事前告知）
- ・河川レンジャー事務局（橋詰様）：090-1896-7088
- ・淀川河川事務所 福島出張所（担当者／宮島事務係長）：06-6458-2102
- ・池永邸：06-6473-3276
- ・野里住吉神社：06-6471-0277

4. 毛馬出張所管内河川レンジャー 三輪 栄子

4.1 活動テーマと活動分野

三輪河川レンジャーは、以下の河川レンジャーとしての活動目的を達成するため、平成25年度は、以下の活動テーマのもと、4つの活動を実施します。

河川レンジャーとしての活動目的

「暮らしの中の河川」の活動を通して、歴史、文化を学び、環境や防災についての理解を深め、都市型の暮らしの中から川への関わりを日常とする人々を増やす活動。

平成25年度活動テーマ

例年の活動（歴史散歩川沿い歩き、防災、冬鳥観察、子供イベント）に加え、下流域の参加者に 広い淀川の多面的な姿（上流域、中流域）を見ていただき、淀川のような問題を考える活動をおこないたい。

平成25年度の活動一覧

活動分野	活動名	活動目的
河川にかかわる歴史文化の普及活動	川沿い歩き歴史散歩	川を感じ、歴史の中で川の果たした役割を学ぶ
河川行政と地域住民とのコーディネートを図る活動	学習会 施設見学会	防災施設の役割、利水治水の理解を深める
河川の環境保全を図る活動	観察会 学習会	川面の心地よさと生物の暮らし学ぶ
河川レンジャー活動の普及を図る活動	パネル展示 体験イベント	河川レンジャーの多岐にわたる活動を広報する。

4.2 活動名 川沿い歩き歴史散歩

(1) 活動目的

川を感じ、歴史の中で川の果たした役割を学ぶ

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	川沿い歩き歴史散歩	下見 打合せ
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		打合せ 下見
	9月	川沿い歩き歴史散歩	
	10月		
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		打合せ
	2月		下見
	3月	川沿い歩き歴史散歩	

(2) 参加対象者・定員

どなたでも参加

定員30名

(3) 実施内容

川沿い歩き・歴史散歩

淀川の中流域、上流域への関心を高める

史跡、施設見学を兼ねた川沿い散歩

(4) 実施日

4月26日 9月28日 3月中旬～下旬

(5) 実施場所

4月 八幡市 三川合流付近 背割堤 (検討中)



9月 江戸時代～明治の大阪 川口周辺を学ぶ



3月 高槻芥川とアクアピア学習会

芥川緑地資料館 高槻市南平台5丁目59-1

(6) 広報・募集方法

- 大阪市北区を中心に広報
- 地域団体に協力依頼
- 河川レンジャーホームページ
- 昨年までの参加者へのお知らせ

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

生涯学習推進員スタッフ

歴史散歩の会

環境学習講座スタッフ

出欠、人数確認、安全確認、

毎回3～4名

(8) 必要支援内容

施設利用

参考地図

レンジャー旗

広報

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案、
- ・講師・協力スタッフの手配、
- ・打ち合わせ
- ・会場の手配
- ・資料作成
- ・広報活動
- ・当日の運営、現地案内

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年は、下見に十分な時間がかけられなかったので、

今年は、スタッフとよく打ち合わせをして、より、中身の濃い事業にしたい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

天候に左右される活動ですが、中止の連絡は、メールや、留守電では、確認ができないので、当日の振替企画を考えたい。

(12) その他

4.3 施設見学会

(1) 活動目的

防災施設の役割、利水治水の理解を深めるための学習

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		下見、日程調整、広報
	5月	施設見学会	再下見、打ち合わせ
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		施設利用の日程調整
	12月		
平成 26 年	1月		打合せ、下見
	2月	施設見学会	スタッフ打ち合わせ
	3月		

(2) 参加対象者・定員

どなたでも参加

定員 30名

(3) 実施内容

下水道記念館

津波の避難ビルに指定され、防災の展示や学習会が多い施設ですので、

下水道施設の見学後、防災の学習会を企画中

体験型、防災学習会

会場調整中

(4) 実施日

5月下旬、 2月 中旬～下旬

(5) 実施場所

5月 此花区 海老江 下水道科学館
大阪市此花区高見1丁目2番53号

2月体験学習施設調整中

(6) 広報・募集方法

大阪市北区を中心に広報
地域団体に協力依頼
河川レンジャーホームページ
昨年までの参加者へのお知らせ

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

生涯学習推進員スタッフ
歴史散歩の会
環境学習講座スタッフ

(8) 必要支援内容

見学施設の学習会場
参考地図
河川レンジャー旗
広報

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案、
- ・見学施設との調整 協力スタッフの手配、
- ・打ち合わせ
- ・広報活動
- ・当日の運営、現地案内

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・防災に関する事業を昨年は、実施できなかったので、
- ・一昨年好評だった見学会体験学習の企画を変えて実施したい

(11) 活動を行ううえでの課題等

高齢の方にも役立つ体験学習にしたい。

(12) その他

4.4 地域イベント

(1)活動目的

河川レンジャー活動の広報

住んでいる街と川との関わりを考える活動

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		地域子供イベント 打ち合わせ、準備
	5月		地域子供イベント準備
	6月	地域子供イベント「かえっこバザール」	区パネル展打合せ
	7月		区パネル展準備 自然史フェスエントリ
	8月	北区役所パネル展示	区民カーニバル打合せ準備
	9月		自然史フェス準備体験
	10月	北区民カーニバル テントブース出展	自然史フェス準備パネル製作
	11月	自然史フェス「広報活動・体験ブース」	
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

6月 対象：小学生、保護者、地域住民

定員：200～30人

8月、対象 地域住民 区役所への来館者

どなたでも参加

10月 対象 どなたでも

体験コーナーは、材料終了まで

11月、対象どなたでも

展示開催時間中随時

(3) 実施内容

- 6月 子供イベント 「かえっこバザール」
レンジャー活動の広報、川と生き物の体験学習
- 8月 北区役所 パネル展とミニ講座
レンジャー活動の広報、土嚢作り体験
- 10月 区民カーニバル パネル展示、体験コーナー
- 11月 自然史博物館フェス パネル展示 体験ブース調整中

(4) 実施日

6月（4月以降に日程確定）、8月、10月、11月

(5) 実施場所

- 6月 北区堀川小学校
大阪市北区東天満 2-10-7
- 8月 北区役所 市民交流プラザ
（北区役所入り口）
大阪市北区扇町2丁目1番27号
- 10月 扇町公園
大阪市北区扇町1丁目・2丁目
- 11月 長居公園 自然史博物館
大阪市東住吉区长居公園 1-23

(6) 広報・募集方法

大阪市北区を中心に広報 市内全域への広報
地域団体に協力依頼
河川レンジャーホームページ
環境団体、ボランティア団体への広報

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

生涯学習推進員スタッフ
歴史散歩の会
環境学習講座スタッフ

(8) 必要支援内容

フェス参加調整
パネル借用運搬
土嚢作り用道具一式
レンジャー旗
パネル製作用資料
広報

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案、参加申し込み
- ・会場の調整 協力スタッフの手配、
- ・打ち合わせ 資料の作成
- ・広報活動
- ・当日の運営、

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・大人数のイベントでの広報の工夫
- ・体験時のコミュニケーションの取り方

(11) 活動を行ううえでの課題等

早めに 準備に取り掛かれるよう関係スタッフと調整したい。

(12) その他

4.5 冬鳥観察会

(1)活動目的

淀川に飛来する冬鳥を観察、干潟の生き物について、学習する

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平 成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		下見
	12月		下見 スタッフ依頼
平 成 26 年	1月	冬鳥観察会	下見
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

どなたでも

30名

(3) 実施内容

冬鳥観察

(4) 実施日

1月下旬

(5) 実施場所

淀川左岸 冬鳥飛来状況により 海老江または、毛馬赤川地区

(6) 広報・募集方法

大阪市北区を中心に広報
地域団体に協力依頼
河川レンジャーホームページ
昨年までの参加者へのお知らせ

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

生涯学習推進員スタッフ
歴史散歩の会
環境学習講座スタッフ

(8) 必要支援内容

見学施設の学習会場
参考地図
河川レンジャー旗
広報

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案、講師依頼
- ・見学施設との調整 協力スタッフの手配、
- ・打ち合わせ、下見
- ・広報活動
- ・当日の運営、現地案内

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

毎回参加の方には、今回の観察テーマを決め、新たな発見をしていただきたい。今年は、観察会に参加したことのない方を多くお連れしたい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・寒さの厳しい時期で、休憩場所も含め、当日の予定を組み立てたい

(12) その他

5. 毛馬出張所管内河川レンジャー 崎谷 久義

5.1 活動テーマと活動分野

崎谷レンジャーは、以下の河川レンジャーとしての活動目的を達成するため、平成25年度は、以下の活動テーマのもと、7つの活動を実施します。

河川レンジャーとしての活動目的

体験型プログラムを通じて、川が持つ自然の魅力や安心・安全を楽しく学ぶ啓発活動を推進する。

平成25年度活動テーマ

市民と川の豊かなふれあいを増す活動！を行う。

平成25年度の活動一覧

活動分野	活動名	活動目的
川の歴史・文化を普及啓発する活動	① 『豊里ヨシ原・平成ワンドを見てみよう！』 ② 歴史散歩『かつての淀川 濤筋と旧跡を探る』	地域と淀川が共生してきた歴史・文化を知ろう！
川の適正利用の推進を図る活動	自然と開放感に満ちた『淀川に親しむ！』	身近な淀川を、もっと知って！楽しもう
川づくり、人づくりへの参画・支援をする活動	(神戸大ボート部の学生たちと) 『淀川で、競技ボートの試乗交流をしませんか！』	地域住民と大学の、川のスポーツに拠る交流を支援する
啓発活動	『山や川の豊かな自然は、私たちに大きな安心を与えてくれます。』	河川レンジャー情報発信などの広報活動
防災の推進を図る活動	『地域で考えよう防災！』	自主防災活動の活性化
川の環境保全を図る活動	『自然豊かな菅原・豊里の河畔景を美しく！』	河川美化の活動

5.2 活動名 豊里ヨシ原・平成ワンドの辺りを見よう！

(1) 活動目的 地域と淀川の、共生してきた文化を知ろう！①

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画の立案と提案 ・ フィールド下見 ・ 講師の依頼と打合わせ
	5月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画作成、調整と確定 ・ 活動貸借物申請、手配 ・ 広報物作成、広報活動
	6月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力スタッフ手配、打合わせ ・ レジユメ資料の作成
	7月	『豊里ヨシ原・平成ワンドの辺りを見よう！』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動実施 ・ 活動報告まとめ
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員 = 一般市民 30名

(3) 実施内容

*シリーズ〈河川レンジャーアドバイザーの知恵と力を活用して〉で、今回は上田豪レンジャーアドバイザーの協力を要請して行ないます。

経験豊かな事業実績で、地域と繋がりを付けながら様ざまな活動行ってこられたノウハウを、私のフィールドに伝授していただく。協働することで、レンジャーに求められる成果が倍加できるようにと考えています。優れた自然環境を持ちながら上手く活用するに到っていないエリアを如何にすれば市民の関心を得ることができるか。流域住民が安

心して川辺を楽しめる環境改善の方策は！などを車座になって話し合う場をつくり
ます。併せて、交響幻想曲‘淀川’松下真一 作曲 の調べを聴きます。

(4) 実施日

*初夏頃の開催予定で、日程調整を行います。

(5) 実施場所

豊里ヨシ原・平成ワンド

堤 雅美 邸（東淀川区菅原 1-2-30）



(6) 広報・募集方法

*東淀川区まちづくりセンター支援員と連携し活動主旨の啓発を図って、参加者募集の広報を協働で行います。淀川管内河川レンジャーHP、河川レンジャーNews、広報チラシ、
(関係機関・区役所などの配布)

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

*地域のコミュニティー活動者などに呼掛けて、地域の魅力探しや資源づくりを共に考えて行ける人づくり活動を提唱し続ける中で、推進者の役割りを配します。

(8) 必要支援内容

*河川レンジャーアドバイザー（上田氏）および、淀川の歴史的背景や環境に詳しい見識者を1名迎える計画。また、堤様のご自宅を会場にお借りして音響機材を借用。見識者様お手持ちのCD『交響幻想曲‘淀川’』松下真一 作曲 *淀川改修100年を記念して作曲録音されたものを借用。*雄大な淀川の調べの表現を傾聴しながら、河川環境について語り合います。

淀川流域マップ、レンジャー幟、諸資料などの提供とレジュメやチラシの印刷協力。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

*事業企画の立案と、協力要請するレンジャーアドバイザーなどとの調整。催し推進のプログラムづくりと話題提供活動および指揮。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

*一昨年、昨年とこれまで2回に渡り河川レンジャーアドバイザーの協力を得た事業を行ってきました。共に川辺を歩きながら催しテーマを考え、開催当日にはアドバイザーとしての経験と知識を披露していただきました。でも、伝えたい中身が、歩きながらの解説程度となってしまう折角の機会を不完全燃焼させているのを感じました。今回は河川環境を少し見て、地域の歴史ある施設で座談し、課題に採りあげる内容を確りと話し合って環境改善や地域活性化に役立てられる催しになるよう企画しました。

(11) 活動を行ううえでの課題等

*地域では関心が薄い淀川をテーマに、新しく組織された「まちづくりセンター支部」の指導員を当て込んだ企画は少し冒険です。でも、大阪市が取り組んでいる地域活性化の機会を活用することは適時だと思います。チャレンジをしたいと思います。

(12) その他

5.3 活動名 歴史散歩『かつての、淀川滯筋と旧跡を探る』

(1) 活動目的 地域と淀川の、共生してきた文化を知ろう！②

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画の立案と提案 ・ フィールド下見調査
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画の作成 ・ 援助者の発掘と協力要請
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動貸借物申請、手配 ・ 広報物作成、広報活動
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力スタッフ手配、打合わせ ・ フィールド再確認 ・ 散策マップ、レジュメの作成
平成 26 年	1月	歴史散歩『かつての淀川滯筋と旧跡を探る』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動実施 ・ 活動報告まとめ
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員 = 一般市民 30名

(3) 実施内容

* 新淀川の開削前後の痕跡を辿りながら、かつて川と闘った水防の様子や共生を図った具体策などの確認をすることで、此れからの川とまちづくりを考えてみたいと思います。

(4) 実施日

* 新春1月頃の実施予定で、計画を行います。

(5) 実施場所



(6) 広報・募集方法

* 地域コミュニティーを育む活動団体などに呼びかけ、歩きのグループや歴史サークルなどの紹介を得て広報伝達に努める。淀川管内河川レンジャーHP、河川レンジャーNews、広報チラシ（関係機関・区役所などの配布）

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

* グループ参加が得られる場合は、その中のリーダー格の方に安全管理や出欠の確認などを依頼。また、レンジャー側でも1～2名が先導と後方確認の人員を充てる。

(8) 必要支援内容

* レジュメ、チラシの印刷。レンジャー職の貸与。訪問先の場所借りや、水先案内人に対する謝礼。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

* 健康のために街歩きする人、歴史散歩の好きな人やグループをターゲットに呼掛ける事で、川について思いを深める人達を増すよう努力する。旧の川筋や、川と共存してきた痕跡個所の確認と資料づくりを行う。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

* 生活と川を新たな視点で考えてみる催しにしました。

(11) 活動を行ううえでの課題等

* 川への直接的誘導が難しいことを踏まえ、河川区域から外れて堤内地側で淀川との共生問題を考える催しの企画を立てました。

(12) その他

5.4 活動名 自然と開放感の満ちた、淀川に親しむ！

(1) 活動目的 身近な淀川を、もっと知って！楽しもう

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画の立案と提案 ・ 事業賛同者の発掘
	5月		<ul style="list-style-type: none"> ・ フィールドの下見 ・ 実施計画、調整打合わせ
	6月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動貸借物申請、手配 ・ 広報物作成、広報活動
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力スタッフ手配、打合わせ ・ フィールドの再確認
	8月		<ul style="list-style-type: none"> ・ レジюме資料の作成 ・ 事業内容の調整
	9月	自然と開放感に満ちた『淀川に親しむ！』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動実施 ・ 活動報告まとめ
	10月		
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員 = 流域の一般市民 30名

(3) 実施内容

菅原城北大橋から淀川のダイナミックな眺望を楽しみながら、兩岸の景観を対比的に眺めてみます。

多くの市民に親しまれ関心が高い、左岸「城北ワンド」辺りの状況。そして、自然の豊かな右岸「豊里ヨシの群落地+平成ワンド」のエリヤ環境はどのような状態で活用されているか。恵まれた自然を有効に活かして、環境という資源を子どもたちの体験教育や地域コミュニティーを育む装置になることを提案し、実感して頂きます。

(4) 実施日

* 8月頃の開催予定で、計画を行います。

(5) 実施場所

豊里ヨシの群落地区+城北河畔地区



(6) 広報・募集方法

* 地域自治会や地域まちづくりセンター（東淀川区・都島区）などと連携をし、広報に努めます。淀川管内河川レンジャーHP、河川レンジャーNews、広報チラシ（関係機関・区役所などの配布）

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

* 地域の活動家やまちづくり支援員などに呼掛け、其々が担う役割りの範囲で協力し合うことを前提に調整を行います。

(8) 必要支援内容

* 河川事務所には、環境配慮の工事や維持管理する計画資料・環境調査データなど入手の協力を要望します。また、コンセンサスが得られる有識者の協力も仰ぎたいと思います。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

* 市民と川の共生をテーマに、豊かな自然を地域理解と環境配慮の実践に結びつくよう、様々な人々とのネットワークづくりを行います。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

* 新たな試みで企画立案した、実験的催し。

(11) 活動を行ううえでの課題等

* 大阪市が力を注ぐ新たな「まちづくり活動」への提案事業として、ESDの視点で考察しました。

(12) その他

5.5 活動名 淀川で、競技ボートの試乗交流をしませんか！

(1) 活動目的 地域住民と大学の、川のスポーツに拠る交流を支援する

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画の立案 ・ 大学への提案書提示
	6月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程の確定と内容調整 ・ 広報物作成、広報活動
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力スタッフ手配、打合わせ ・ 活動場の下見実施計画
	8月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画、調整 ・ 活動必要物品の手配 ・ 安全マニュアル他 資料作成
	9月	『淀川で、競技ボートの試乗交流をしませんか！』 ：河川敷テントで、ボート競技の案内・危険回避についての資料展示も併催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動実施 ・ 活動まとめ
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力者、関係機関への報告
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員 = 流域近郊の中学校在校生、教師・一般市民などを対象に募集
定員：30名
および、神大漕艇部クラブ員や関係者 約50余名

(3) 実施内容

*神戸大漕艇部の全面協力を得て、漕艇部クラブハウスおよび淀川本川を活用した競技ボートの乗艇体験を行い、河川スポーツの醍醐味を堪能する。学生達の安全サポートを受けながら、参加する近郊市民との交遊を図ります。淀川と人との共生の有り方や環境理解についても考える機会づくりに役立てます。何よりも、市民と学生が楽しく交流することで豊かな地域コミュニティが形成されることを目指します。

(4) 実施日

*学校行事や天候と河川状況など鑑みて、9月初旬に開催を予定。

(5) 実施場所



(6) 広報・募集方法

*流域近郊の自治会、地域まちづくりセンター（東淀川区・都島区など）に活動主旨の理解を図り協力を要請する。淀川管内河川レンジャーHP、河川レンジャーNews、広報チラシ（関係機関・区役所などの配布）

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

*神大の役員か関係者様に、競技ボートの歴史や競技方法、安全管理の知識、練習メニューや学生の寮生活の様子などを話していただきます。また、安全管理は神大とレンジャーの協働で役割り分担を致します。参加予定人数30人に対して、安全対応者は15人以上を確保いたします。

(8) 必要支援内容

*河川事務所には、ボート接岸地の足元環境が良くないので地固め土砂の提供を依頼します。その他、河川レンジャー活動の広報資料や淀川の自然環境が理解されよい資料、レンジャー幟などの提供を申請します。また、神大様には活動場の事前片づけやテント張り、クラブハウス・練習場の公開と諸機材の提供。競技ボートとライフジャケット、タオルなど、様々な関連必要物を貸借提供の依頼をします。加えて、乗船時のサポートや安全を見届けるため、併走のモーターボート手配を要望します。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

* 神大および漕艇部役員、クラブ員およびサポーターの方々と事前打ち合わせを重ね、学校側への依頼事項を記述し大学関係機関に申請を行います。計画案に沿った内容で、漕艇部学生に役割り分担を頼み、特に安全確保の問題には慎重な対策を立てます。催し事前事後の、活動場の整備片づけ、草刈りや清掃など諸作業を学生たちと行います。当日の進行役を努め、推進を行います。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

* 前年度の活動が、途中から（いざ乗艇という段階で、雷雨など天候急変に依り）中止しました。安全が最優先ですから、その決断を確り行うと同時に、中断時に於ける代わりのプログラムを用意することも大事と考えて工夫します。

(11) 活動を行ううえでの課題等

* 上記にも記した天候で中止の憂き目は2年つづきです。時節を変えることも学校側と検討しましたが、本来の9月は安定した気候時期で水流状況が良い事。また学生達の協力が最も得やすい頃なので、引き続き9月で開催を行うことにしました。

(12) その他

* この度の活動地、JR 城東貨物線・赤川仮橋(人道橋)が今年の秋で廃止というニュースが1月末ころの新聞紙上で報道されました。地域にとっては不可欠ともなっている架橋であり、また上流の流れ橋のように趣が有ることで、映画やテレビでも度々登場する市民の関心深いもの。この催しを最後に、今後は見る事が出来なくなる様です。ボート乗艇と直接的には関係ないですが、川に親しみがもてる大切な資産が無くなることに寂しさを覚えます。

5.6 活動名 山や川の豊かな自然は、私たちに大きな安心を与えてくれます。

(1) 活動目的 河川レンジャー情報発信などの広報活動

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画の立案 ・ 実施計画、出展申請
	8月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動貸借物申請、手配 ・ 広報物作成、広報活動
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力スタッフ手配、打合わせ ・ フィールド下見 ・ 付随資料の作成
	10月	『山や川の豊かな自然は、私たちに大きな安心を与えてくれます。』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動実施 ・ 活動報告まとめ
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員 = 「水都おおさか 森林の市」に来場する、不特定市民の多くを引き込む。(予定来場者1万5千名)

(3) 実施内容

*森と川～海は深い繋がりが有って、恋人同士の関係とはよく言われています。豊かな緑を守ることは、私たちに穏やかで恵みの多い川や海の報恩を与えてくれます。

(4) 実施日

*主催者の実行委員会発表に沿わせますが、10月第一日曜頃の予定です。

(5) 実施場所

毛馬桜之宮公園・大川端



(6) 広報・募集方法

*主催:水都おおさか森林の市実行委員会(林野庁 近畿中国森林管理局)の広報を主体に、河川レンジャーでも独自のチラシを作成し、活動周知の拡充に努める。淀川管内河川レンジャーHP、河川レンジャーNews、広報チラシ(関係機関・区役所などの配布)

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

*この催しに、河川環境管理財団大阪事務所や森林総合研究所・自然と緑などの普段にお付き合いの深い諸団体の参画があるので、共に広報支援など情報の伝播を協力し合い、広めてゆく計画。

(8) 必要支援内容

*架設テントの貸借、河川レンジャー活動の理解が図れる淀川流域マップ、広報用ポスター、環境保全の啓発が図れる資料やデータなどの提供。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

* 催し参加申請の企画書作成と出展手続き。森林の市運営会議への出席。展示物の収集や説明掲示などグラフィ物の作成準備。催し前日のテント設営・展覧物の配列掲示、開催期間中の案内や説明。催事終了あとの撤収と借り請け物品の返却など。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

* 催しの来場者が非常に多く、年齢や興味の方角もまちまちで焦点が絞りづらかった。また、今回は防災をテーマに体験型の構成で取組んだが、祭りという会場では理屈を伴う勉強事（落ち着いた時間が与えられて体験することで、学ぶなど）は無理でした。皆が多くの出展コーナーに顔を出し、短時間で楽しんだ後に何かもらえる！そこに、人気が集まっているのが実情。このことを踏まえ、一工夫をする必要がある。

(11) 活動を行ううえでの課題等

* 上記にまとめて記したが、殊に親子連れが興味を引く内容を十分に考える必要がある。

(12) その他

5.7 活動名 地域で考えよう防災！

(1) 活動目的 自主防災活動の活性化

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画の立案と提案 ・ 協働先への提案、調整活動
	8月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動内容と日程の確定 ・ 広報物作成、広報活動
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力スタッフ手配、打合わせ ・ 活動現場の下見、実施計画
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動必要物品の手配 ・ 配付資料の作成
	11月	『地域で考えよう防災！』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動実施 ・ 活動まとめ
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力者、関係機関への報告
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員 = 一般市民 30名

(3) 実施内容

* 河川事務所毛馬出張所の構内施設および長柄河畔地区旧蹟を案内し、河川管理の体制や治水施設・能力の現状理解を図ります。また水防工法の体験実習なども行なって、災害に対する危機意識の啓発に繋がります。

(4) 実施日

* 11月初旬頃に行う計画で出張所の都合や、まちづくりセンター支援員などと日程調整を致します。

(5) 実施場所

毛馬出張所構内+長柄河畔地区



(6) 広報・募集方法

* 地域自治会や地域まちづくりセンター（東淀川区・都島区など）と連携をし、広報に努め活動主旨の啓発を共に図る。淀川管内河川レンジャーHP、河川レンジャーNews、広報チラシ（関係機関・区役所などの配布）

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

* 地域コミュニティを育む活動団体などと協働で、防災実習を行なうと同時に安全管理上でも必要なグループ行動の役割分担なども考慮して挑みます。

(8) 必要支援内容

* 河川事務所毛馬出張所の構内及び諸施設を開放案内。出張所職員の休日出勤に拠る協力。

水防の基本として、土嚢づくり、簡便な水防工夫を学ぶための諸材料（土嚢づくり技術習得の関連物品一式）を河川事務所に要望。水防実技の指導および水防団との調整に、松永正光さんへの要請を希望します。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

* 淀川大堰辺りの河川様態を参加者たちと眺望観察し、毛馬出張所が担う役割りや水防機能を有する構内施設を紹介。いざの時に身を守るための心掛け！などを会得して貰う解説を行う。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

* 前年度にも同様な催しを行ったが、河川環境や利水の説明に時間を裂いて水防技術の習得体験が手薄になってしまった。 淀川の環境問題は課題が広いので別の機会に行う事にし、この度は簡略な説明で済ませる考え。

(11) 活動を行ううえでの課題等

* 昨年度は催し前日が雨のために、屋外での土囊づくり実習場の足元状態が悪かった。この様なことも考え、対応できる活動プランを工夫します。

(12) その他

5.8 活動名 自然豊かな菅原・豊里の河畔景を美しく！

(1) 活動目的 河川美化の活動（ゴミ収集活動）

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画の立案と提案 ・ 協力要請先へ提案活動
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動内容と日程の確定 ・ 広報物作成、広報活動
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力スタッフ手配、打合わせ ・ フィールド下見
平成 26 年	1月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動諸材料、ゴミ撤収手配 ・ 実施計画と調整
	2月	『自然豊かな菅原・豊里の河畔景を美しく！』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動実施 ・ 活動まとめ、協力者への報告
	3月		

(2) 参加対象者・定員 = 流域の一般市民 100余名

(3) 実施内容

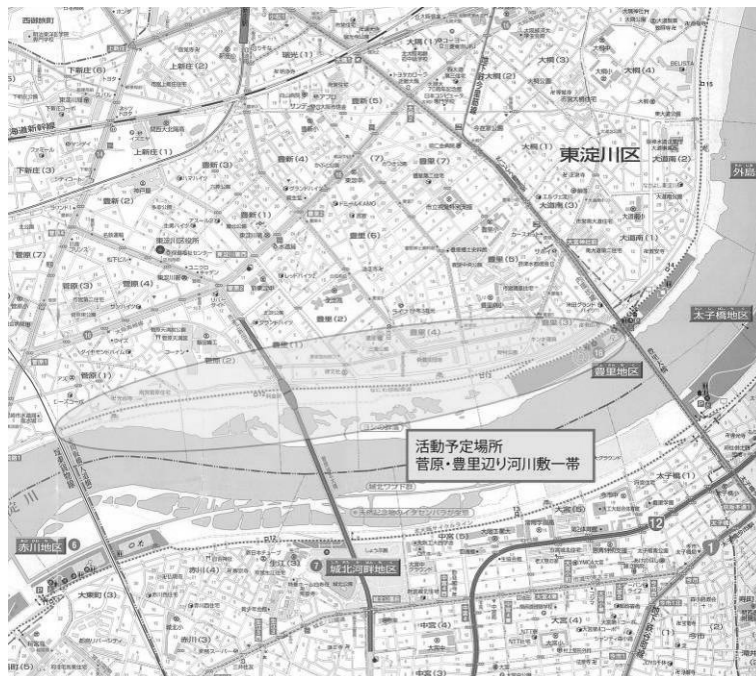
* 河川事務所毛馬出張所の構内施設および長柄河畔地区旧蹟を案内し、河川管理の体制や治水施設・能力の現状理解を図ります。また水防工法の体験実習なども行なって、災害に対する危機意識の啓発に繋がります。

(4) 実施日

* 2月に開催予定で、計画します。

(5) 実施場所

菅原・豊里辺り河川敷一带



(6) 広報・募集方法

* 地域まちづくり支援員やNPO活動家などと連携し、人づてに広報に主力を置いた参加者集めの戦略を計っていきます。また区役所などにも協力依頼し、地域企業や各種コミュニティーグループへの声掛けルートを教えてもらう等の工夫を考えてみたい。淀川管内河川レンジャーHP、河川レンジャーNews、広報チラシ（関係機関・区役所などの配布）

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

* この事業の核になる、協力が得られる予定団体から特定の担当者を決めてもらい、チームリーダーや安全管理者などを配して、スムーズな推進が行えるようにする。

(8) 必要支援内容

* 河川事務所に対し、決められた集積箇所に標示サインの設置と、集められたゴミの収集引取り廃棄処分。レンジャー幟、ゴミ収集挟み、ゴミ袋などの手配を依頼。事業に協力を得る地域 NPO から、小型運搬車（リヤカー）の貸与を受ける。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

* ゴミ収集計画のエリア調査を十分に行い、普段に周辺河川敷きを活用している人たちを観察分析し、その対象者たちに美化の声掛けや活動参加の協力を呼び掛ける。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

* 前年度も、この事業に神大学生達に参画の呼掛けを行った。しかし、2月は寮生活の学生数が減少していることも有って、もっと幅広い方面へ協力要請に努める必要性を感じた。その上に、近郊住民（ことに東淀川区民）活動エリアの淀川本川に関心が薄く、普段から川原に近付かないよう徹底してアナウンスされている様子も伺える。結果、ヨシの群落地や通称バクダン池と呼ばれている自然豊かなエリアが、他から入り込んで来た様々な事象の弊害（不法耕作・野宿の青テント・野犬・不審火など）をもたらしており、益々もって川と親しむ住民の気持ちがそがれていることが分る。改善の機運が起る活動にしたい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

* 上記の様な中で、立ち上がった一部の市民が少しでも河川環境を良くしたいと活動することで、改善への道が開けて行けば良いと思う。レンジャーとして、その切っ掛けづくりに汗を掻きたい。

(12) その他

* 淀川の上下流域で繰り広げられている河川美化の活動日と連動させ、この地域での核活動に生長するよう積極的な参加呼掛けを展開して行く。

6. 毛馬出張所管内河川レンジャー 石山 郁慧

6.1 活動テーマと活動分野

石山河川レンジャーは、以下の河川レンジャーとしての活動目的を達成するため、平成 25 年度は、以下の活動テーマのもと、12 つの活動を実施します。

河川レンジャーとしての活動目的

淀川水系の生物多様性に関する情報収集と発信

平成 25 年度活動テーマ

- A 水辺の生物情報の発信
- B 特定外来生物の啓発活動

平成 25 年度の活動一覧

活動分野	活動名	活動目的
1 河川の環境保全を図る活動 (河川環境保全の啓発・学習)	A 河口の生物ぬりえ教室	十三干潟・海老江干潟・矢倉海岸の生き物を知ってもらう
1 河川の環境保全を図る活動 (河川環境保全の啓発・学習)	A 情報誌「水辺だより」	淀川水系の生物を地域の人々に学んでもらう・年 6 回発行
1 河川の環境保全を図る活動 (河川環境保全の啓発・学習)	B 子どもイベント 「かえっこバザール」	堀川小学校区の子どもたちに特定外来生物を知ってもらう
1 河川の環境保全を図る活動 (河川環境保全の啓発・学習)	A 自然楽習会 in 大正川	自分で捕獲することにより命の大切さを体感してもらう
1 河川の環境保全を図る活動 (河川環境保全の啓発・学習)	B 環境フェアいばらぎ 2013	茨木市民に特定外来生物を知ってもらう
1 河川の環境保全を図る活動 (河川環境保全の啓発・学習)	B 特定外来生物ポスターの発行	継続活動、流域の人々に特定外来生物を知ってもらう
2 河川の環境保全を図る活動 (河川環境のモニタリング)	B 特定外生物のお話	継続活動、庭窪ワンドの定点調査を通じて最新情報を収集&発信

6.2 活動名 河口の生物ぬりえ教室

(1) 活動目的

A 水辺の生物情報の発信

大阪湾岸にいる水生生物を学び、とくに十三干潟・海老江干潟・矢倉海岸の生き物を知ってもらおう。河川レンジャー石山が企画・編集した環境教育教材を使用し、生物の特徴を色をぬりながら認識していただく。なお、広報活動等の準備に関しては、平成25年2月から行う。

平成25年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	河口の生物ぬりえ教室	協力スタッフの手配、広報活動 資料づくり、展示物等
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

生物に興味をもつ人、小学生以下は保護者同伴。先着 20 人（マックス 24 人まで対応可能）

(3) 実施内容

■教材 塗り絵図鑑「大阪湾の生き物」（A4・16 ページ・フルカラー）

■持ちもの 12 色の色鉛筆

- 1 生きもの観察のポイントと注意
- 2 色のぬり方のポイント
- 3 塗り絵教室

(4) 実施日

春休み中、4 月 6 日（土）午前 10 時～12 時・午後 1 時～3 時の 2 部制

(5) 実施場所

NPO 法人 nature works

大阪市北区天神橋 2-5-18 南森町センタービル 402 号

(6) 広報・募集方法

NPO 法人 nature works（約 700 件）、きんき環境館（約 2500 件）、環境カウンセラー等のメーリングで告知、なるべくペーパーレスをめざした広報活動を心がける。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

■講師 岐阜県大学大学院 医学系研究科 講師 小村一也・河川レンジャー 石山 郁慧

■スタッフ 1～2 名 広報協力・当日の受付・写真撮影・会場設営など

(8) 必要支援内容

・NPO 法人 nature works に会場を借りる。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング・講師依頼・協力スタッフの手配・広報活動・資料づくり
- ・司会進行と塗り絵の指導

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

とくになし

(11) 活動を行ううえでの課題等

NPO 法人 nature works との調整により、実施時間を変更する可能性がある。

(12) その他

・NPO 法人 nature works に教材を無料提供していただけるようにお願いします。

6.3 活動名 情報誌「水辺だより」の発行

(1) 活動目的

A 水辺の生物情報の発信

これまでに行ってきた生物調査や研究者への取材をふまえ、正しい最新情報を蓄積してきた。それらを淀川水系の人々に発信することにより、生物相豊かな淀川の魅力をPR、淀川に足を向けていただく機会を創出する。

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		Vol, 1 の作成・調査・取材
	5月	vol, 1 の発行・告知	
	6月		Vol, 2 の作成・調査・取材
	7月	Vol, 2 の発行・告知	
	8月		Vol, 3 の作成・調査・取材
	9月	Vol, 3 の発行・告知	
	10月		Vol, 4 の作成・調査・取材
	11月	Vol, 4 の発行・告知	
	12月		Vol, 5 の作成・調査・取材
平成 26 年	1月	Vol, 5 の発行・告知	
	2月		Vol, 6 の作成・調査・取材
	3月	Vol, 6 の発行・告知	

(2) 参加対象者・定員

淀川の自然や生物に興味をもつ人、パソコンを持っている人

(3) 実施内容

これまでに収集してきた淀川水系の生物情報を掲載した情報誌を発行する。季節毎の情報発信とし、年6回(5・7・9・11・1・3月の予定。トピックスがあれば特別号を発行する可能性もある。情報誌は河川レンジャーHPに掲載し、流域の方々に無料ダウンロードしていただく。ムダなコストをかけないようペーパーレスとする。なお、河川レンジャーHPを利用することにより、レンジャーの知名度アップもめざす。各号掲載後はインターネットを通じて随時告知していく。淀川水系はもちろん、全国に向けて「淀川」をアピール。仕様はA4・4P・フルカラー。

(4) 実施日

年6回 5・7・9・11・1・3月の15日にHPアップ

(5) 実施場所

作業はNPO法人 nature works、掲載は河川レンジャーのHP
大阪市北区天神橋2丁目5-18-402

(6) 広報・募集方法

NPO法人 nature works (約700件)、きんき環境館(約2500件)、環境カウンセラー等のメール
ングで告知、なるべくペーパーレスを目指した広報活動を心がける。

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

- アトリエきりん洞10名程度、表紙に掲載する生物細密画を無料で貸していただく。
- あくあびあ芥川・高田みちよさんにコラム執筆を無料でお願ひする。

(8) 必要支援内容

毎号のHPへのアップを河川レンジャー事務局にお願ひする。
編集作業をNPO法人 nature worksにお願ひする。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング・執筆・取材・広報活動

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

とくになし

(11) 活動を行ううえでの課題等

とくになし

(12) その他

- ・人を自然に近づける川いい会に、足りない写真等を無料提供していただけるようにお願ひする。

6.4 活動名 子どもイベント「かえっこバザール」

(1) 活動目的

B 特定外来生物の啓発活動

大阪市堀川小学校にて毎年開催される子どもイベントに出展する。来場者は小学生とその家族、淀川に侵略してきた特定外来生物を伝えるため、最新の情報を発信する。子どもたちに興味をもってもらうよう、クイズなどを用意し、楽しみながら気軽に学んでいただく。

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		展示物・資料の準備
	6月	子どもイベント「かえっこバザール」	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

堀川小学校区の人々

(3) 実施内容

「特定外来生物とは何か」を伝えるのは、なかなか難しい。そのため、展示にビジュアルショッキングを与えて、子どもたちに視覚的に訴求する。例えば、アライグマ（特定外来生物）、よく似たタヌキ（在来種）の写真を掲載し、違いを解説する。また、クイズシートを用意しておき、答えていくだけで覚えられるよう工夫を凝らす。

(4) 実施日

6月の日曜日の予定（4月以降でないと日程が決定しない）

(5) 実施場所

堀川小学校 大阪市北区東天満2丁目10-7

(6) 広報・募集方法

小学生が広報するが、石山サイドでもNPO法人nature works（約700件）、きんき環境館（約2500件）、環境カウンセラー等のメーリングで告知。なるべくペーパーレスをめざした広報活動を心がける。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

■スタッフ1名 活動補佐

(8) 必要支援内容

クイズシートの印刷（A4両面・200枚）※残った場合は10月の活動で使用する。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング・広報活動・資料作り
- ・会場設営・展示

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

とくになし

(11) 活動を行ううえでの課題等

とくになし

(12) その他

- ・人を自然に近づける川いい会に、足りない写真等を無料提供していただけるようお願いする。

6.5 活動名 自然楽習会

(1) 活動目的

A 水辺の生物情報発信

石山がホームグラウンドとしている茨木市・大正川で観察会を開催。地域の人々を対象に、自分たちの町の川に親しむ機会を創出する。魚や昆虫などを実際に捕りながら生態を観察してもらい、命の大切さや連鎖を体感していただく。また、オオクチバス・ギル・カダヤシ等の特定外来生物は、持ち帰って飼育できないことを伝えていく。

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		現場の下見・足場の整備
	6月		現場の下見・水流の整備
	7月		告知・事前捕獲調査
	8月	自然楽習会 in 大正川	
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

河川で魚捕りを楽しみたい家族 定員 20 名

(3) 実施内容

「川に生息する生物には、どんなものがあるのか？」ということ自らの網で捕獲して、観察していただく。希望者には持ち帰り方法や飼育方法を教える。また、都市河川でのリスク管理（自分の命は自分で守る、家族の命は家族で守る）などの訴求も合わせて行う。なお、この活動は「環境ネットいばらぎ」との連携で実施する予定。「環境ネットいばらぎ」は茨木市民を対象とするが、石山は茨木市以外の人々を集客する。

(4) 実施日

8月4日（日）午前9時30分～11時30分

(5) 実施場所

茨木市立天王小学校前・大正川



(6) 広報・募集方法

NPO 法人 nature works（約 700 件）、きんき環境館（約 2500 件）、環境カウンセラー等のメールで告知。なるべくペーパーレスをめざした広報活動を心がける。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

2～3 人・足場づくり・事前捕獲・当日の川守等

(8) 必要支援内容

紅白ポール 1 本・シャベル 2 本。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 事業プランニング・広報活動・資料作り
- ・ 足場の整備・事前捕獲

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

とくになし

(11) 活動を行ううえでの課題等

とくになし

(12) その他

「環境ネットいばらぎ」が連携しない場合は自主事業とする。

6.6 活動名 環境フェアいばらき 2013

(1) 活動目的

B 特定外来生物の啓発活動

石山が在住する茨木市の環境フェアに出展。地域の人々を対象に、特定外来生物とは何かを訴求する。生態系だけではなく、産業や人体に悪い影響を及ぼすことをつたえる一方で、外来生物に罪がない、持ち込んだのは人間であるということを訴える。

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		告知・展示物の準備
	10月	自然環境フェアいばらき 2013	会場設営
	11月		
	12月		
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

茨木市民

(3) 実施内容

「特定外来生物とは何か」を伝えるのは、なかなか難しい。そのため、展示にビジュアルショックを与えて、子どもたちに視覚的に訴求する。例えば、アライグマ（特定外来生物）、よく似たタヌキ（在来種）の写真を掲載し、違いを解説する。また、クイズシートを用意しておき、答えていくだけで覚えられるよう工夫を凝らす。

(4) 実施日

10月の土日2日間

(5) 実施場所

茨木市役所 市民総合センタークリエイトセンター
大阪府茨木市駅前4丁目6-16

(6) 広報・募集方法

茨木市が広報するが、石山サイドでもNPO法人nature works（約700件）、きんき環境館（約2500件）、環境カウンセラー等のメーリングで告知。なるべくペーパーレスをめざした広報活動を心がける。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

■スタッフ1~2名 2日間の活動補佐

(8) 必要支援内容

クイズシートの印刷（A4両面・200枚）※残った場合は2月の活動で使用する。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング・広報活動・資料づくり
- ・会場設営・展示

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

とくになし

(11) 活動を行ううえでの課題等

とくになし

(12) その他

人を自然に近づける川いい会に、足りない写真等を無料提供していただけるようお願いする。
会場は人を自然に近づける川いい会のブースの一角を借りる。

6.7 活動名 特定外来生物ポスターの発行

(1) 活動目的

B 特定外来生物の wanted ポスターのアルゼンチンアリ・ウシガエル等を追加発行する。このポスターを利用していただくことによって、特定外来生物の特徴を理解し、指導者が子どもたちに伝えていけるように促進させる。

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		ポスターの作成
	11月		ポスターの作成
	12月	特定外来生物ポスターの発行	
平成 26 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

自然や生物に興味をもつ人、パソコンを持っている人

(3) 実施内容

継続事業、特定外来生物の wanted ポスターの無料ダウンロードを追加作成。

24 年度には 5 種類を発表。(アライグマ・ヌートリア・カミツキガメ・セアカコケグモ・カダヤシ)。これに加えて、アルゼンチンアリ・ウシガエル等のポスターを作成する。

(4) 実施日

12 月中旬

(5) 実施場所

作業は NPO 法人 nature works、掲載は NPO 法人 nature works の HP
大阪市北区天神橋 2 丁目 5-1 8-4 0 2

(6) 広報・募集方法

NPO 法人 nature works (約 700 件)、きんき環境館 (約 2500 件)、環境カウンセラー等のメール
ングで告知。なるべくペーパーレスをめざした広報活動を心がける。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

アトリエきりん洞 3 名程度 ポスターに掲載する生物細密画を無料で貸していただく。

(8) 必要支援内容

細密画のレンタル・データ作成費・HP コーナー確保・@10,000

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング・広報活動・ポスターの作成
- ・デザイナーとの打ち合わせ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

とくになし

(11) 活動を行ううえでの課題等

とくになし

(12) その他

人を自然に近づける川いい会に、足りない写真等を無料提供していただけるようにお願いします。

6.8 活動名 特定外来生物のお話

(1) 活動目的

B 特定外来生物の啓発活動

継続事業、庭窪ワンドの定点調査を中心に、特定外来生物の情報発信&情報交換を実施。

行政・学識・市民の垣根をこえて、考えやアイデアを出し合い、連携できるネットワークづくりをめざす。

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月		
	5月		庭窪ワンド定点調査
	6月		
	7月		庭窪ワンド定点調査
	8月		
	9月		庭窪ワンド定点調査
	10月		
	11月		庭窪ワンド定点調査
	12月		
平成 26 年	1月		庭窪ワンド定点調査
	2月	特定外来生物のお話	
	3月		庭窪ワンド定点調査

(2) 参加対象者・定員

河川保護団体のリーダーや研究者、学生など河川や生物に興味を持つ人。

先着 20 人。応募が多数であれば、マックス 30 人まで受付可能。

(3) 実施内容

継続事業。24 年度と同様、あくあぴあ芥川との共催で実施。庭窪の定点調査だけでなく、これまでに収集してきた最新情報を発表する。

(4) 実施日

平成 26 年度 2 月を予定。日時は会場と調整してから決定。

(5) 実施場所

芥川緑地資料館・多目的ホールを予定

大阪府高槻市南平台 5 丁目 5 9-1

(6) 広報・募集方法

NP0 法人 nature works (約 700 件)、きんき環境館 (約 2500 件)、環境カウンセラー等のメールマガジンで告知。なるべくペーパーレスをめざした広報活動を心がける。

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

■講師

芥川緑地資料館 主任学芸員 高田みちよ氏

大阪府立環境農林水産総合研究所 馬場玲子氏 (理学博士)

河川レンジャー 石山郁慧

(8) 必要支援内容

とくになし

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング・広報活動・ポスターの作成
- ・あくあぴあ芥川との打ち合わせ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

とくになし

(11) 活動を行ううえでの課題等

講師や会場との調整により、日程変更が予測される。

(12) その他

参加者への配布資料として、人を自然に近づける川いい会が作成した「茨木市版・特定外来生物」(A4・16P・フルカラー)を提供していただく。

7. 淀川出張所管内河川レンジャー 新里 嘉孝

7.1 活動テーマと活動分野

新里レンジャーは、以下の河川レンジャーとしての活動目的を達成するため、平成25年度は、以下の活動テーマのもと、8つの活動を実施します。さらにレンジャー広報活動の一環として、エリア地域の小学校～高校までを対象に「河川レンジャーニュース」の配布（一校5部程度）を行います。

河川レンジャーとしての活動目的

川の魅力の発信や川に学ぶ機会の提供を行い、川への愛着や防災意識の啓発を行います。

平成25年度活動テーマ

1. 川の魅力の発信と川に学び、共生する
2. 防災意識啓発

平成25年度の活動一覧

活動分野	活動名	活動目的
河川美化と防災啓発	大川クリーン活動&生物調査&E ボート体験	川や水辺の美化と環境保全を推進するとともに、防災意識の啓発を行う
川の魅力の発信と啓発	地域子供イベント	ヨシ笛づくりの実演を通し、環境保全の啓発を行う
環境保全と防災啓発	大阪ふれあいの水辺クリーン活動&E ボート体験	水辺の美化と自主防災意識の活性化
川の魅力の発信と防災啓発	川の魅力と防災体験	レンジャー活動紹介と防災体験
川の魅力の発信と啓発	「北区区民カーニバル」ブースでのヨシ笛の実演とパネル展示	環境保全啓発と川の魅力の体感
川の環境保全活動	大阪ふれあいの水辺クリーン活動&生物調査	川や水辺の美化と環境保全を推進する
川の環境保全活動	鶴殿のヨシ刈りの実施とパネル展示	河川の環境保全と啓発
環境啓発	野鳥観察会	野鳥の多様な生態から川の魅力を発見し河川環境について共に考える

7.2 活動名 大川クリーン活動&生物調査&E ボート体験

(1) 活動目的

川や水辺の美化と環境保全を推進し、E ボート体験を通して、防災意識の啓発を行う

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	大川クリーン活動&生物調査&E ボート体験	現地見調査と協力団体等との調整
	5月		事業プランニングと担当者との打合せ
	6月	地域子供イベント	広報誌作成と担当者との打合せ
	7月		事業プランニングと担当者との打合せ
	8月	レンジャー活動の展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	9月	大川クリーン活動&E ボート体験	現地見調査と協力団体等との調整
	10月	ヨシ笛の実演とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	11月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 &生物調査	広報誌作成と担当者との打合せ 現地見調査と協力団体等との調整
	12月		事業プランニングと活動報告の整理
平成 26 年	1月		事業プランニングと担当者との打合せ
	2月	鶺鴒のヨシ刈りの実施とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	3月	野鳥観察会	現地見調査と協力団体等との調整

(2) 参加対象者・定員

- 対象：地域の方を中心に子どもから大人まで幅広い層
- 定員：60人（予定）

(3) 実施内容

大川沿い及び大川の美化活動。「大阪ふれあいの水辺」での生物調査とEボート体験。

(4) 実施日

4月27日（土）または28日（日）予定

(5) 実施場所

- 集合場所：大阪市北区天満橋1-8-50 帝国ホテル東側（大川右岸）
- 活動エリア：集合場所から大川沿いを清掃し右岸から左岸へ移動
- 大阪府ふれあいの水辺で生物調査
- 大阪府ふれあいの水辺でEボート体験



* 矢印 → は美化活動エリア

(6) 広報・募集方法

ポスター掲示(区役所他)、チラシの配布、メーリングリストの活用、地域を拠点に活動するNPO団体をはじめとする関係団体への呼びかけ など

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

10人：受付、機材の運搬・搬入、会場整理、進行役、記録(カメラ)、連絡調整など

(8) 必要支援内容

ポスター・チラシの作成、のぼりなど必要機材の運搬・搬入など

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング
- ・各種団体などとの連絡調整
- ・現地調査
- ・講師依頼
- ・協力スタッフの手配
- ・当日の進行役
- ・その他必要とされる活動

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・参加者目印の配布について考える
- ・途中参加者の把握と注意事項徹底
- ・広報活動と地域との連携強化
- ・スタッフの増員と安全の確保

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・回収ごみの分別（公園管理者と調整）

(12) その他

7.3 活動名 地域子供イベント

(1) 活動目的

ヨシ笛づくりの実演を通し、環境保全の啓発を行う

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	大川クリーン活動&生物調査&Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	5月		事業プランニングと担当者との打合せ
	6月	地域子供イベント	広報誌作成と担当者との打合せ
	7月		事業プランニングと担当者との打合せ
	8月	レンジャー活動の展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	9月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 & Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	10月	ヨシ笛の実演とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	11月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 &生物調査	広報誌作成と担当者との打合せ 現地下見調査と協力団体等との調整
	12月		事業プランニングと活動報告の整理
平成 26 年	1月		事業プランニングと担当者との打合せ
	2月	鶺鴒のヨシ刈りの実施とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	3月	野鳥観察会	現地下見調査と協力団体等との調整

(2) 参加対象者・定員

- 対象：一般
- 定員：自由参加

(3) 実施内容

ヨシ笛の実演（予定）

(4) 実施日

6月（主催者側日程未確定）

(5) 実施場所

○集合場所：大阪市北区 堀川小学校



(6) 広報・募集方法

チラシ配布、メーリングリストの活用、地域を拠点に活動する NPO団体をはじめとする関係団体への紹介 など

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

2～3人：機材の運搬・搬入、ヨシ笛づくりの実演、記録(カメラ) など

(8) 必要支援内容

資料作成、のぼりなど必要機材の運搬・搬入など

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング
- ・各種団体などとの連絡調整
- ・協力スタッフの手配
- ・その他必要とされる活動

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

今回の出展が初めての取組みとなる

(11) 活動を行ううえでの課題等

関係者及び関係団体との調整

(12) その他

7.4 活動名 レンジャー活動の展示

(1) 活動目的

川の魅力の発信と防災啓発

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	大川クリーン活動&生物調査&Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	5月		事業プランニングと担当者との打合せ
	6月	地域子供イベント	広報誌作成と担当者との打合せ
	7月		事業プランニングと担当者との打合せ
	8月	レンジャー活動の展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	9月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 & Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	10月	ヨシ笛の実演とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	11月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 &生物調査	広報誌作成と担当者との打合せ 現地下見調査と協力団体等との調整
	12月		事業プランニングと活動報告の整理
平成 26 年	1月		事業プランニングと担当者との打合せ
	2月	鶺鴒のヨシ刈りの実施とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	3月	野鳥観察会	現地下見調査と協力団体等との調整

(2) 参加対象者・定員

- 対象：一般
- 定員：自由参加

(3) 実施内容

大阪市北区役所市民ロビーにてレンジャー活動の紹介を行う
E ボートの紹介やパネル展示ほか

(4) 実施日

8月初旬

(5) 実施場所

- 集合場所：大阪市北区区役所内市民ロビー



(6) 広報・募集方法

ポスター掲示(区役所他)、チラシの配布、メーリングリストの活用

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

4～5人：レンジャー活動の紹介、機材の運搬・搬入、会場整理、記録(カメラ)、連絡調整など

(8) 必要支援内容

ポスター・チラシの作成、のぼりなど必要機材の貸し出し・運搬・搬入など

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング
- ・展示パネルの作成とパネルの解説

- ・協力スタッフの手配
- ・その他必要とされる活動

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点
今回初めての取組となる

- (11) 活動を行ううえでの課題等
- ・区役所との日程調整など

(12) その他

7.5 活動名 大川クリーン活動&E ボート体験

(1) 活動目的

川や水辺の美化を推進するとともに、Eボートの体験を通して自主防災意識の活性化

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	大川クリーン活動&生物調査&Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	5月		事業プランニングと担当者との打合せ
	6月	地域子供イベント	広報誌作成と担当者との打合せ
	7月		事業プランニングと担当者との打合せ
	8月	レンジャー活動の展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	9月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 & Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	10月	ヨシ笛の実演とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	11月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 &生物調査	広報誌作成と担当者との打合せ 現地下見調査と協力団体等との調整
	12月		事業プランニングと活動報告の整理
平成 26 年	1月		事業プランニングと担当者との打合せ
	2月	鶺鴒のヨシ刈りの実施とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	3月	野鳥観察会	現地下見調査と協力団体等との調整

(2) 参加対象者・定員

- 対象：地域の方を中心に子どもから大人まで幅広い層
- 定員：40人（予定）

(3) 実施内容

大川沿い及び大川の美化活動及びEボート体験

(4) 実施日

9月7日（土）予定

(5) 実施場所

- 集合場所：大阪市都島区中野町（大川左岸）
- 大阪府ふれあいの水辺



* 矢印 → は美化活動エリア

(6) 広報・募集方法

ポスター掲示(区役所他)、チラシの配布、メーリングリストの活用、地域を拠点に活動するNPO団体をはじめとする関係団体への呼びかけ など

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

5人：受付、機材の運搬・搬入、会場整理、進行役、記録(カメラ)、連絡調整など

(8) 必要支援内容

ポスター・チラシの作成、のぼりなど必要機材の運搬・搬入など

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング
- ・各種団体などとの連絡調整
- ・現地調査
- ・協力スタッフの手配
- ・当日の進行役
- ・その他必要とされる活動

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・広報活動と地域との連携強化
- ・スタッフの増員と安全の確保

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・回収ごみの分別（公園管理者と調整）

(12) その他

7.6 活動名 ヨシ笛の実演とパネル展示

(1) 活動目的

環境保全啓発と川の魅力の体感

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	大川クリーン活動&生物調査&Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	5月		事業プランニングと担当者との打合せ
	6月	地域子供イベント	広報誌作成と担当者との打合せ
	7月		事業プランニングと担当者との打合せ
	8月	レンジャー活動の展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	9月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 & Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	10月	ヨシ笛の実演とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	11月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 &生物調査	広報誌作成と担当者との打合せ 現地下見調査と協力団体等との調整
	12月		事業プランニングと活動報告の整理
平成 26 年	1月		事業プランニングと担当者との打合せ
	2月	鶺鴒のヨシ刈りの実施とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	3月	野鳥観察会	現地下見調査と協力団体等との調整

(2) 参加対象者・定員

- 対象：一般
- 定員：自由参加

(3) 実施内容

ヨシ笛の実演とパネル展示

(4) 実施日

10月初旬（予定）

(5) 実施場所

大阪市北区：扇町公園内



(6) 広報・募集方法

北区民カーニバル広報誌及び北区民カーニバルホームページへの掲載

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

3～4人：ヨシ笛の実演、機材の運搬・搬入、会場整理、記録(カメラ)、連絡調整など

(8) 必要支援内容

チラシ及びパネルの作成、のぼりなど必要機材の貸し出し・運搬・搬入など

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング
- ・各種団体などとの連絡調整
- ・協カスタッフの手配
- ・ヨシの選別と準備

- ・その他必要とされる活動

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ヨシ笛作りに適したヨシの選別
- ・会場整理
- ・ヨシのパネル準備など

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・良質なヨシの確保
- ・ヨシの加工に適したのこぎりの確保

(12) その他

7.7 活動名 大阪ふれあいの水辺クリーン活動&生物調査活動

(1) 活動目的

川や水辺の美化と環境保全を推進する

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	大川クリーン活動&生物調査&Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	5月		事業プランニングと担当者との打合せ
	6月	地域子供イベント	広報誌作成と担当者との打合せ
	7月		事業プランニングと担当者との打合せ
	8月	レンジャー活動の展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	9月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 & Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	10月	ヨシ笛の実演とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	11月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 &生物調査	広報誌作成と担当者との打合せ 現地下見調査と協力団体等との調整
	12月		事業プランニングと活動報告の整理
平成 26 年	1月		事業プランニングと担当者との打合せ
	2月	鶺鴒のヨシ刈りの実施とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	3月	野鳥観察会	現地下見調査と協力団体等との調整

(2) 参加対象者・定員

○対象：地域の方を中心に子どもから大人まで幅広い層

○定員：50人（予定）

(3) 実施内容

ふれあいの水辺の清掃活動と生物調査

(4) 実施日

11月9日（土）予定

(5) 実施場所

○集合場所：大阪市都島区中野町（大川左岸）

○大阪ふれあいの水辺



* 矢印 → は美化活動エリア

(6) 広報・募集方法

ポスター掲示(区役所他)、チラシの配布、メーリングリストの活用、地域を拠点に活動するNPO団体をはじめとする関係団体への呼びかけ など

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

7～8人：受付、機材の運搬・搬入、会場整理、進行役、記録(カメラ)、連絡調整など

(8) 必要支援内容

ポスター・チラシの作成、のぼりなど必要機材の運搬・搬入など

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 事業プランニング
- ・ 各種団体などとの連絡調整
- ・ 現地調査
- ・ 協力スタッフの手配
- ・ 当日の進行役
- ・ その他必要とされる活動

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 広報活動の充実と地域との連携強化
- ・ 安全の確保

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・ 回収ごみの分別（公園管理者と調整）
- ・

(12) その他

7.8 活動名 鶺殿のヨシ刈りの実施

(1) 活動目的

河川の環境保全と啓発

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	大川クリーン活動&生物調査&Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	5月		事業プランニングと担当者との打合せ
	6月	地域子供イベント	広報誌作成と担当者との打合せ
	7月		事業プランニングと担当者との打合せ
	8月	レンジャー活動の展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	9月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 & Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	10月	ヨシ笛の実演とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	11月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 &生物調査	広報誌作成と担当者との打合せ 現地下見調査と協力団体等との調整
	12月		事業プランニングと活動報告の整理
平成 26 年	1月		事業プランニングと担当者との打合せ
	2月	鶺殿のヨシ刈りの実施とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	3月	野鳥観察会	現地下見調査と協力団体等との調整

(2) 参加対象者・定員

○対象：地域の方を中心に子どもから大人まで幅広い層

○定員：10人

(3) 実施内容

鶺鴒のヨシ原の環境保全と環境啓発活動に利用する、「ヨシ笛作成の実演用」のヨシ確保のため、鶺鴒ヨシ刈りを行う。さらに、「ヨシ笛作成実演」などのパネル展示も行う。担当レンジャーとの連携活動として実施する。

(4) 実施日

2月上旬 予定

(5) 実施場所

○集合場所：大阪府高槻市上牧 鶺鴒



(6) 広報・募集方法

ポスター掲示(区役所他)、チラシの配布、メーリングリストの活用、地域を拠点に活動するNPO団体をはじめとする関係団体への呼びかけ など

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

2人：機材の運搬・搬入、進行役、記録(カメラ)、連絡調整など

(8) 必要支援内容

ポスター・チラシの作成、のぼりなど必要機材の運搬・搬入など

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 事業プランニング
- ・ 各種団体などとの連絡調整
- ・ 協力スタッフの手配
- ・ 当日の進行役
- ・ その他必要とされる活動

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ ヨシ笛に適した材の確保

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・ 担当レンジャーとの調整

(12) その他

7.9 活動名 野鳥観察会

(1) 活動目的

野鳥の多様な生態から川の魅力を発見し河川環境について共に考える

平成 25 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 25 年	4月	大川クリーン活動&生物調査&Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	5月		事業プランニングと担当者との打合せ
	6月	地域子供イベント	広報誌作成と担当者との打合せ
	7月		事業プランニングと担当者との打合せ
	8月	レンジャー活動の展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	9月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 & Eボート体験	現地下見調査と協力団体等との調整
	10月	ヨシ笛の実演とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	11月	大阪ふれあいの水辺クリーン活動 &生物調査	広報誌作成と担当者との打合せ 現地下見調査と協力団体等との調整
	12月		事業プランニングと活動報告の整理
平成 26 年	1月		事業プランニングと担当者との打合せ
	2月	鶺鴒のヨシ刈りの実施とパネル展示	広報誌作成と担当者との打合せ
	3月	野鳥観察会	現地下見調査と協力団体等との調整

(2) 参加対象者・定員

○対象：地域の方を中心に子どもから大人まで幅広い層

○定員：30人

(3) 実施内容

淀川毛馬付近の冬鳥の観察

(4) 実施日

3月1日(土) 予定

(5) 実施場所

○集合場所：大阪市北区 淀川河川公園



(6) 広報・募集方法

ポスター掲示(区役所他)、チラシの配布、メーリングリストの活用、地域を拠点に活動するNPO団体をはじめとする関係団体への呼びかけ など

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

3人：機材の運搬・搬入、進行役、記録(カメラ)、連絡調整など

(8) 必要支援内容

ポスター・チラシの作成、のぼりなど必要機材の運搬・搬入など

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・事業プランニング
- ・各種団体などとの連絡調整
- ・協力スタッフの手配
- ・当日の進行役
- ・その他必要とされる活動

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・天候には注意が必要
- ・寒さ対策の徹底
- ・時間配分の調整

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・寒さ対策で温かい飲み物の確保

(12) その他